

LG SIGNATURE

LG SIGNATURE

OLED TV

取扱説明書

(準備・設置・接続)

4K 有機ELテレビ

このたびはLG OLEDテレビをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用前に本取扱説明書をよくお読みになりご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

OLED97M3*

本説明書では、テレビの組み立てや外部機器との接続について説明しています。
テレビの初期設定や、基本的な操作方法については別紙の「LG Smart TV かんたんガイド」、
詳しい操作方法についてはテレビ内蔵の「操作ガイド」をご覧ください。



* M F L 7 2 0 4 1 1 2 0 2 3 0 9 R E V 0 0 *

www.lg.com

Copyright © 2023 LG Electronics Inc.

All Rights Reserved.

目次

2 目次

3 安全にお使いいただくために

8 準備する

- 8 付属品を確認する
- 9 別売りアクセサリ
- 9 このマニュアルを読む前に
- 10 各部の名称
- 12 設置と使用
- 14 マジックリモコンの機能
- 16 持ち運びのご注意
- 17 ワイヤレステレビを設置する
- 18 壁掛けブラケットの設置
- 23 テレビ画面の設置

30 接続する

- 30 アンテナを接続する
 - 30 地上デジタル放送用アンテナをつなぐ
 - 31 衛星放送用アンテナをつなぐ (BS・110度CS アンテナ)
 - 32 マンションなどの共同受信システムにつなぐ
 - 32 ケーブルテレビ放送 (CATV) を見る場合
 - 34 アンテナをゼロコネクトボックスと録画機器に接続する
- 36 外部機器を接続する

- 37 BD・DVD プレーヤー／レコーダー、ビデオを接続する
 - 37 HDMI 端子に接続する
 - 38 オーディオ機器を接続する
- 39 ヘッドホンを接続する
- 40 PC を接続する
 - 40 HDMI 接続
- 41 USB 機器を接続する
- 42 IR ブラスターを接続する

43 困ったとき

- 43 故障かな？と思ったら

48 その他

- 48 使用上のご注意
- 52 デジタル放送について
- 53 仕様
- 56 オープンソースソフトウェアのお知らせ
- 57 登録商標
- 57 さらに、安全にお使いいただくために
- 58 設定メニュー
- 59 保証とアフターサービス



ヒント

- 本説明書に記載の図やイラストは機種や使用環境により実際とは異なる場合があります。
- メニューやオプションの項目は機種や外部入力によって異なる場合があります。
- 利用できるサービス内容や画面は、本説明書発行時点のものであり、予告なく追加、変更、削除される場合があります。

安全にお使いいただくために

この「安全にお使いいただくために」は、製品を正しく安全にお使いいただき、また事故や危険を未然に防ぐためのものです。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

取扱いを誤った場合、人がけがをしたり物的損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。

■ 図記号の意味



禁止

禁止内容 (してはいけないこと) を表しています。



プラグを抜く めれ手禁止



注意内容 (気をつけること) を表しています。



指示

指示内容 (しなければならないこと) を表しています。

! 警告 異常や故障のときは

- 本機を倒したり、キャビネットを破損したりしたときはすぐに電源プラグを抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。すぐに当社カスタマーセンターにご相談ください。緊急時、すぐに電源プラグを抜くことができるようにコンセントは容易に手が届く位置のものを请使用ください。



プラグを抜く

! 警告 異常や故障のときは

- 故障や異常に気づいたら本機の電源を切り電源プラグを抜く。
 - 煙やにおい、異臭がする。
 - 画面が映らない。
 - 音が出ない。
 - 内部に水やものが入った。
 そのまま使用すると火災や感電の原因になります。すぐに当社カスタマーセンターに修理をご依頼ください。



プラグを抜く

警告 電源について

- 交流100V以外の電圧で使用しない。
火災や感電の原因となります。
- 電源コードに重いものを載せない。
火災や感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしない。
火災や感電の原因になります。コードが破損した場合は、すぐに当社カスタマーセンターにコードの交換をご依頼ください。
- 電源プラグは根元までしっかりと差し込む。
電源コンセントに差し込んだ電源プラグが外れかけたままで使用された場合、火災や感電の原因となります。電源プラグを長い間差し込んだままお使いになる場合には、定期的にご確認ください。
- 電源コードにアース線がある場合、アース線の金属部をコンセントとプラグの間に挟まない。
また、アース線の金属部をコンセントの差し込み口に差し込まない。
感電、火災の原因になります。
- 電源コードのアース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行く。
また、アース線を外す場合は、必ず、電源プラグをコンセントから抜いて少し時間を置いてから行う。



禁止



禁止



禁止



指示



指示



指示

注意 電源について

- 電源コードを熱器具に近づけない。
電源コードの被覆が溶けて火災や感電の原因となる場合があります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となる場合があります。
- 電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない。
電源コードの損傷や断線により、火災や感電の原因となる場合があります。
- タコ足配線をしない。
火災や感電の原因となる場合があります。
- 本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源ボタンまたは電源スイッチを切っても、電源は接続状態である。
- 電源コードは、LG Electronicsで供給する純正の製品だけを使用する。同梱する電源コードを他の製品には使用しない。
火災、感電の原因となります。
- 電源プラグがコンセントに接続された状態でコンセントの溝に電気を通すものを入れない。また、電源プラグはコンセントから抜いてすぐに触れない。
感電の原因となります。



禁止



ぬれ手禁止



禁止



禁止



禁止



禁止

⚠ 注意 電源について

- 本機の近くで高電圧の電気機器（電撃殺虫器など）を使用しない。
製品が誤作動を起こすことがあります。

**⚠ 警告 設置について**

- 屋外や浴室など、水がかかるおそれのある場所や、窓際など水滴の発生する場所に置かない。
火災や感電の原因となります。



- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
本機が倒れたり落下したりすると、火災や感電の原因になります。また、本機の下敷きになり、けがをするおそれがあります。



- 振動のある場所に置かない。
振動で本機が動いたり、倒れたりすると、火災や感電の原因になります。また、本機の下敷きになり、けがをするおそれがあります。



- 本機の近くに花瓶や水の入った容器などを置かない。
水がこぼれて内部に入った場合、火災や感電の原因となります。



- 油やオイルミストにさらされる可能性がある場所に、本製品を設置しない。
製品が損傷する原因となります。



- 火のついたロウソクなどの裸火源を装置の上に置かないでください。

**⚠ 警告 設置について**

- 設置するときは二人以上で運ぶ。
落下や転倒による事故を防ぐため、必ず二人以上で運んでください。
衝撃を与えないように丁寧に取り扱い扱ってください。
また、持つときに端子などで指などを傷つけないようご注意ください。



- 病院内や医療用電気機器の近くで無線機能を使用しない。自動ドア、火災報知機など自動制御機器の近くで無線機器を使用しない。
リモコンや本体からの電波が医療用電気機器や自動制御機器に影響を及ぼし、誤動作や事故の原因になります。

**⚠ 注意 設置について**

- ゼロコネクトボックスの通気口をふさがないように、他の物体から少なくとも10cm以上離す。
製品の内部温度が上昇し、故障の原因となることがあります。火災や製品の故障の可能性がります。
- アンテナ工事は販売店に依頼する。
アンテナ工事は専門の知識が必要です。送配電線への接触などの思わぬ事故や、不完全な設置による落下事故などを防ぐため、必ず販売店にご依頼ください。



⚠ 注意 設置について

- 温度の高い場所に置かない。
直射日光のあたる場所、閉め切った自動車内、ストーブのそばなどに置かないでください。キャビネットの変形や故障による火災や感電の原因となる場合があります。
- 湿気やほこりの多い場所、油煙の当たる場所に置かない。
調理器や加湿器などのそばやほこりの多い場所に置くと、火災や感電の原因となる場合があります。
- 電源プラグが容易に抜き差しできるように設置する。
本機は電源プラグの抜き差しで主電源が入/切します。万一の故障や長期間使用しないときに役立ちます。
- 壁に取り付けて使用する場合、壁掛け工事は必ず工事専門業者または、販売店に依頼する。
工事が不完全な場合、製品落下やけがの原因になります。
- キャスター(車)付の台に乗せるときはキャスターを固定する。
固定しないと台が動き、けがの原因となることがあります。
- 本機の角度を調整するときには注意する。
手や指が挟まると、けがの原因になります。
また、無理に傾けると落下してけがをするおそれがあります。



禁止



禁止



指示



指示



指示



禁止

⚠ 警告 ご使用について

- 包装に使用しているポリ袋や付属のネジなどは小さなお子様の手の届くところには置かない。
かぶったり飲み込んだりすると、窒息などの事故につながるおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 内部に異物を入れない。
通風孔などから内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。特に小さいお子様が誤って異物を入れたりしないようご注意ください。
- 修理や改造、分解をしない。
内部には電圧の高い部分があるため、触れると感電の原因となります。故障や点検は、必ず当社カスタマーセンターにご依頼ください。
- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源コード、プラグに触らない。
感電の原因となります。
- ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。また、健康のため、長時間の連続視聴を避け、目や耳を休めるために休憩を取ることをおすすめします。
- 風通しの悪い場所に設置したり、密閉した箱などに入れたりしない。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。壁や他の機器と間隔を空けて設置してください。
仰向けや横倒しにして設置したり、また、布などをかけて使用することはおやめください。



禁止



禁止



禁止



禁止



禁止



禁止

⚠ 注意 ご使用について

- ・ 本機に寄りかかったり乗ったりしない。
けがの原因となる場合があります。
とくに小さなお子様にはご注意ください。



禁止

- ・ 有機EL画面に衝撃を与えない。
ガラスが割れてけがの原因となる場合があります。



禁止

- ・ 心臓ペースメーカー、および除細動器を装着している場合、リモコンや本体を装着部から22cm以上、距離をとる。
リモコンや本体からの電波がペースメーカーや除細動器の動作に影響を与えることがあります。



禁止

- ・ 旅行などで長期間使用しない場合は、安全のため本体の電源プラグを抜いて、リモコンから電池を取り出す。
万一の故障のときに火災の原因となる場合があります。リモコンも液漏れや発熱・破裂などから火災や周囲汚損の原因になることがあります。



プラグを抜く

⚠ 警告 お手入れについて

- ・ 電源コンセントに差し込んだ電源プラグの周りにゴミやほこりが付着していたら、乾いた布でふき取る。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
このような事故を防ぐために、定期的に電源プラグを点検してください。



指示

⚠ 注意 お手入れについて

- ・ リモコン用の乾電池を正しく使用する。
 ◦ 指定以外の乾電池は使用しないでください。
 ◦ 極性表示[+]と[-]を間違えないでください。
 ◦ 充電・過熱・分解をしたり、ショートさせたりしないでください。
 ◦ 表示されている「使用推奨期限」を過ぎた乾電池や使い切った乾電池はリモコンに入れておかないでください。
 ◦ 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
 液漏れや破裂によって、やけどやけがの原因になるおそれがあります。
 ◦ 被覆のはがれた電池は使わないでください。
 ◦ 乾電池を火中に投入したり、加熱したりしないでください。
 ◦ 乾電池は、極端な温度条件下で保管しないでください。
 ◦ 乾電池は太陽光や炎などの過度の熱に晒さないでください。
 ◦ 乾電池を廃棄するときは地域の条例に従ってください。



指示

- ・ お手入れのときは電源プラグを抜く。
必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードの損傷やプラグの変形による感電・火災・ショートのおそれがあります。



プラグを抜く

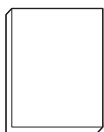
準備する

付属品を確認する

本機には次の付属品があります。お確かめのうえ、不足している物がありましたら、お近くの販売店または当社カスタマーセンター（59ページ）にお問い合わせください。取扱説明書で記載されている付属品の図は、実物と異なる場合があります。付属品は改良のため、予告なく変更されることがあります。



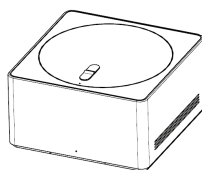
マジックリモコン／
乾電池（2個、単4形）
（14ページ）



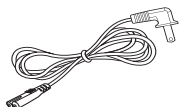
取扱説明書
（準備・設置・
接続）



ガイド／保証書



ゼロコネクトボックス
（WM23EA）



電源コード



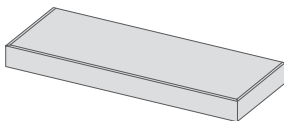
IR ブラスター
（42ページ）



布クリーナー



ケーブルホルダー（1個）
（26ページ）



壁掛けブラケットアクセサリ
ボックス

別売りアクセサリー

別売りアクセサリーは改良のため、予告なく変更されることがあります。
詳しくは、当社のホームページをご覧ください。

www.lg.com

また、ご購入の際は販売店にご相談ください。

壁掛けブラケット

LSW640B

スタンド

SR-M3DT97

*別売りアクセサリーの機種名やデザインは変更されることがあります。

注意

- 別売りアクセサリーは指定された機種にのみ使用できます。
- 安全のためおよび本機の製品寿命を維持するため、推奨品以外は使用しないでください。推奨品以外の使用により生じた損害・損傷は保証いたしかねます。

このマニュアルを読む前に

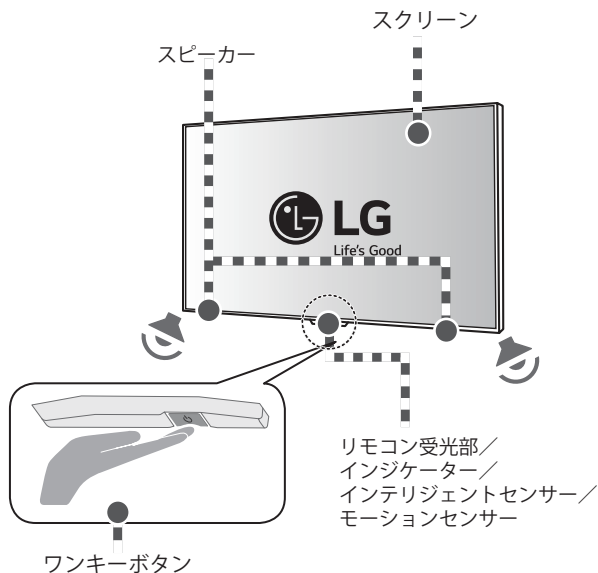
60GHz 帯無線の説明

- ワイヤレステレビは60 GHz電波を使用して、高品質の映像と音声を無線で転送します。
- 60 GHzの高周波は大量のデータ転送に適しており、高い直線性を備えますが、障害物の影響を受けやすくなります。
- 最適なテレビの視聴体験をお楽しみいただくためには、送信アンテナと受信アンテナを互いの方向に調整し、転送経路に障害物がないようにする必要があります。
- 障害物による転送エラーは故障ではありません。推奨される方法に従って正しく設置してから、テレビを使用してください。
- 本製品は人体を電磁波から保護する規格に適合しています*。（* IEC 62311 規格に準拠）

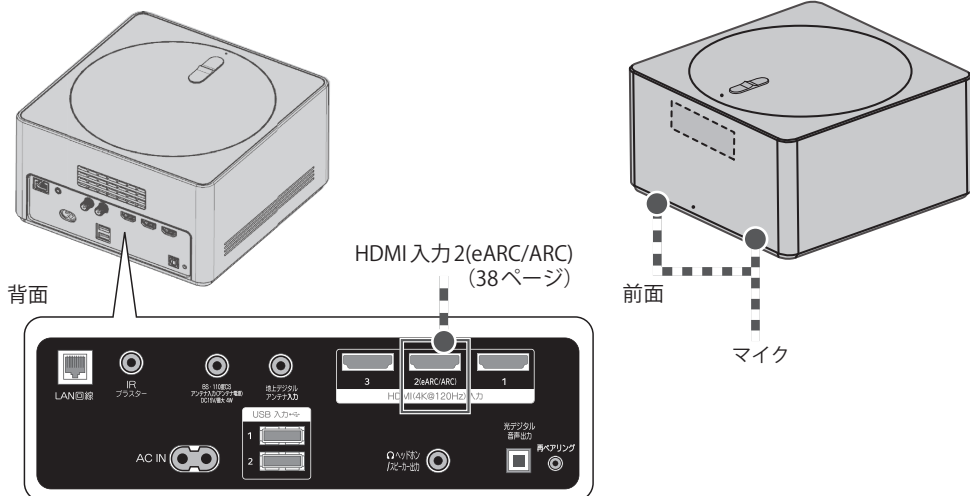
各部の名称

本製品は、テレビ画面とゼロコネクトボックス（チューナー部）で構成されます。

テレビ画面



ゼロコネクトボックス



ワンキーボタンの操作

操 作		説 明
	電源を入れる	画面の電源が切れている状態で電源ボタンを1回押すと、画面の電源が入ります。
	電源を切る	画面の電源が入っている時に、電源ボタンを長押しすると、画面の電源が切れます。このとき、実行中のすべてのアプリを終了し、進行中の録画を中止します。録画番組は保存されません。
	操作メニュー 選択	画面の電源が入っている時に、ボタンを1回押すと、操作メニューが表示されます。ボタンを押してメニューを選びます。ボタンを長押しすると、メニューを選択することができます。

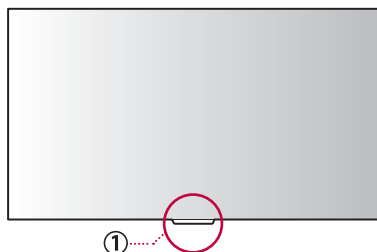
操作メニュー

	電源オフ	電源を切ります。		次のチャンネル 前のチャンネル	チャンネルを選択します。
	入力	入力切換メニューを表示します。		音量を上げる 音量を下げる	音量を調節します。

設置と使用

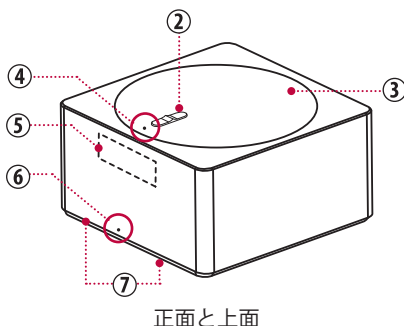
ワイヤレステレビの外観と各部名称

テレビ画面

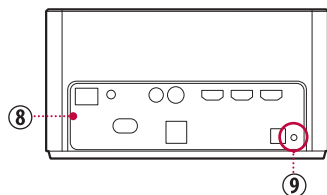


ゼロコネクトボックス (WM23EA)

外部アンテナやセットトップボックスを接続し、映像と音声の信号をテレビ画面へ無線で送信するデバイスです。



正面と上面



背面

① 無線信号受信機と電源ボタン

ここではゼロコネクトボックスが送信した映像と音声の信号を受信します。電源ボタンはテレビ画面をオンにしたり、いつでもOKモードへ切り替えたり、ゼロコネクトボックスとペアリング(相互接続)する場合に使用します。

② スライドボタン

ゼロコネクトボックスの無線アンテナ送信方向は、上下に0～50°の範囲で調整できます。

③ ダイヤル

ゼロコネクトボックスの無線信号送信機は、左右に90°の範囲で調整できます。

④ 上部のLED

無線信号の強度と状態を示します。
青(強)、緑(中)、黄(弱)、赤(切断)。

⑤ 無線信号送信機

無線アンテナを使用してテレビ画面へ映像と音声を送信します。スライドボタンとダイヤルを使用して、無線アンテナの送信方向は上下左右に調整できます。

⑥ 正面のLED

ゼロコネクトボックスの電源または動作の状態を示します。

⑦ 音声認識ユニット

ユーザーの音声を認識します。ここが塞がれていたり、ゼロコネクトボックスの側面や背面から音声で指示が出される場合、正常に機能しないことがあります。

⑧ 外部接続端子

ゼロコネクトボックスの電源コードと、外付けアンテナやセットトップボックスなど、外部映像/音声機器を接続できます。

⑨ ペアリングボタン

製品はペアリング済みの状態で提供されますが、標準の画面が表示されない場合、再度ペアリングする必要があります。

- 再ペアリングする場合は、ゼロコネクトボックス背面のペアリングボタンを5秒間押し続けます。上部LEDが白色に点滅します。
- テレビ画面の電源ボタンを5秒間押し続けると、画面の電源ユニットにあるスタンバイインジケータが白色に点滅します。ペアリングが完了すると、ゼロコネクトボックス上部のLEDの色が変化し、信号強度を示します。
- 1分以内にペアリングが再開されない場合、ペアリングがキャンセルされます。ペアリングする場合は手順を繰り返してください。

マジックリモコンの機能

本機にはマジックリモコンが付属しています。

マジックリモコンを使用するには、テレビ画面とのペアリングが必要です。マジックリモコンのペアリング方法と基本的な操作については、別紙の「LG Smart TV かんたんガイド」をご覧ください。

マジックリモコンに電池を入れるには

電池カバーを開けて付属の単4形乾電池2本を入れ、カバーを閉めてください。カバー内側の記載に合わせて⊕、⊖の向きを正しく入れてください。マジックリモコンの使用中にテレビ画面上に「マジックリモコンの電池残量が少なくなっています。電池を交換してください。」と表示されたら電池を交換してください。



⚠ 注意

- 新しい乾電池と古い乾電池を一緒に使用しないでください。

マジックリモコン使用上の注意

- マジックリモコンで操作できる範囲は約10 m以内です。推奨範囲から離れて操作する場合は、正常に動作しないことがあります。また、使用する環境によっては、正常に動作しないことがあります。
- 近くに電子レンジやデジタルフォトフレーム、無線LAN機器やGPS追跡装置など同じ周波数帯(2.4 GHz)を利用する電気製品がある場合、干渉が発生し正常に動作しないことがあります。
- ご使用環境において市販の無線アクセスポイント機器を設置している場合は、アクセスポイントはテレビ画面から0.2 m以上離れた場所に設置してください。干渉が発生しマジックリモコンが正常に動作しないことがあります。



電源ボタン

電源を入/切します。

入力切替ボタン

外部入力を切り換えます。
また、長押しすると、ホームハブが表示されます。

ワンタッチ選局ボタン

チャンネルをワンタッチで選びます。
9を長押しすると、クイックヘルプが表示されます。

お好みボタン

11を長押しすると、お好みボタンの編集メニューが表示されます。
※お好みボタンの操作方法については、テレビ画面に内蔵の操作ガイドをご覧ください。

地デジ、BS、CS、4K BS/CS ボタン
放送種別（地デジ、BS、CS1、CS2、BS4K、CS4K）を選択します。

音量＋／－ボタン

音量を調節します。

消音ボタン

一時的に音を消します。
元に戻すときはもう一度押します。また、長押しすると、ユーザー補助の設定メニューが表示されます。
さらに、入力切換でテレビ/HDMI入力を選択し視聴時に、消音ボタンを3回続けて押すことで、本機のモデル、シリアルナンバー、実装のソフトウェアバージョンなどを画面に表示します。

マイクボタン

音声認識機能を実行します。

チャンネルハ/Vボタン

順番にチャンネルを選びます。

ホームボタン

1回押しとホームを表示します。
長押しすると以前に実行したアプリに移動します。

設定ボタン

クイック設定メニューを表示します。また、長押しすると、**Ⓢ**（詳細設定）メニューが表示されます。
さらに、テレビの入力切換がHDMI入力でゲーム機の接続時、設定メニューの映像あるいは**音声→モードの選択がゲームオブティマイザで機器設定→ゲームオブティマイザのゲームダッシュボード**の設定がオンの時は、ゲームダッシュボードを表示します。

⑪ ホイール（決定）

メニューやアイテムを選んで、ホイールを押すことで決定します。
ホイールを回すとチャンネルを切り換えられます。
ポインターが表示されているときに、上下左右ボタンを押すと、ポインターが消えて通常のリモコンとして働きます。もう一度ポインターを表示させるには、マジックリモコンを左右に振ってください。
長押しすると、[マジックエクスプローラー]を実行できます。ポインターが紫色に表示時に実行が可能です。[テレビ放送視聴]、[設定]、[スポーツアラーム]、[ギャラリー]などで実行することができます。

上下左右ボタン

メニューやアイテムを選びます。

戻るボタン

1回押しと戻るボタンで、前の画面に戻ります。
長押しすると、終了ボタンで、メニューを閉じます。

番組表ボタン

番組表を表示します。番組表で、視聴・録画の予約を行うことができます。

チャンネルリストボタン

チャンネルリストを表示します。

サブボタン

サブメニューを表示します。

d データ ボタン

データ放送画面を表示します。
カラー（青、赤、緑、黄）ボタン
データ放送や一部のメニューなどで使用します。

コントロールボタン

動画再生時に、再生、停止、一時停止、早戻し、早送り、一つ前の頭出し、一つ後の頭出しなどの操作を行います。
再生ボタンを長押しするとLIVEPLAYBACK（追いかけ再生）を開始します。

録画リストボタン

録画リストを表示します。

●録画ボタン

視聴中の番組の録画を開始します。

字幕ボタン

字幕が提供されている放送の場合に、字幕の表示を設定できます。

音声切替ボタン

他言語音声や副音声などに切り換えることができます。

画面表示ボタン

画面右上に、視聴中のチャンネル情報、現在時刻を常に表示しておくことができます。

ヘルプボタン

操作ガイドを表示します。

1 ストリーミングサービス / アプリボタン

インターネットに接続いただくと、[設定]の各種ストリーミングサービスにボタンひと押しでアクセスができます。

※提供各社の都合により、予告なくサービスが変更、中止または削除されることがあります。あらかじめご了承ください。

持ち運びのご注意

テレビを動かす際は、以下に注意して、テレビに傷などが付かないよう、安全に運んでください。

⚠ 注意

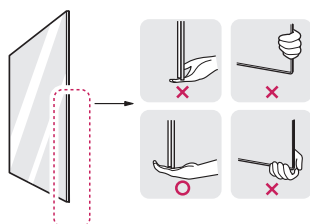
- 画面には触れないようにしてください。画面に傷が付いたり、液晶が損傷したりする場合があります。

- テレビの梱包に使用されていた箱などを使用してテレビを運ぶことをおすすめします。
- テレビを動かしたり持ち上げたりする前に、電源コードとケーブルをすべて外してください。
- テレビを持つ場合、テレビの背面を持ってください。

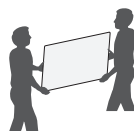


- テレビのフレームの上下をしっかりと持ってください。透明な部分やスピーカー、スピーカーグリルは持たないでください。

下図のように、パネルは握らずに、底部分にしっかりと手を添えて移動してください。パネルをぎゅっと握ったり、掴んだ場合、破損や損傷するおそれがあります。



- 開梱や持ち運び、取付は、必ず2人以上で行ってください。落下してケガや本機の損傷の原因になることがあります。
- テレビを運ぶ際は、次の図のようにテレビを持って運んでください。テレビを縦にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでください。



- テレビを運ぶ際は、テレビに衝撃を与えたり、過度な振動を与えたりしないでください。本機を箱から取り出す際や移動の時は、テレビの上部や側面の上部、4つ角部は絶対つかんだり保持しないでください。パネル損傷の原因となります。

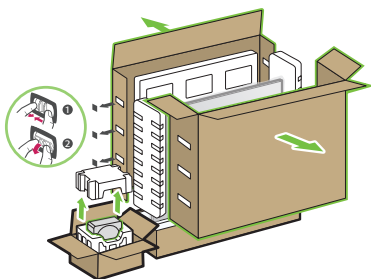
ワイヤレステレビを設置する

本機のテレビ画面は、壁掛けブラケットを付けて、台の上や壁に設置し、本機のゼロコネクタボックスは、テレビ画面に無線を送信できる位置に配置します。

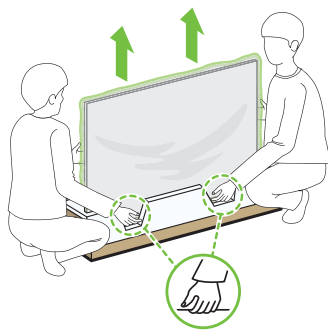
テレビ画面を箱からの取り出しや運搬・移動の際に、上部、側面の上部、および4つ角部を絶対に保持、またはつかんだり、握らないようにしないでください。画面の破損につながります。

図で示された位置、(上面を除く、側面または底面の中央部)を握らないように手を添えて取り出し、移動するようにしてください。

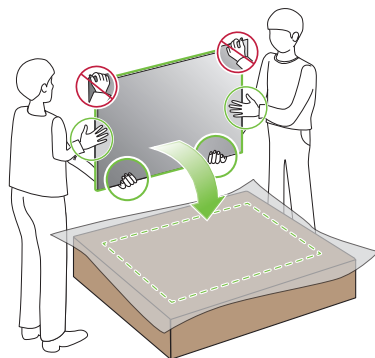
1



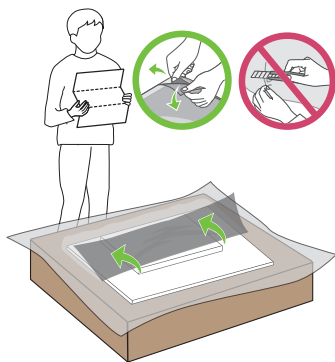
2



3 毛布・または厚い布を敷いたテーブルの上にテレビ画面を下向きに置いてください。



4



⚠ 注意

- くれぐれも角部をつかんだり、握らないようご注意ください。

壁掛けブラケットの設置

設置時のご注意

この「壁掛けの設置時のご注意」は、商品を正しく安全にお使いいただき、事故や危険を未然に防ぐためのものです。本製品の設置前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

専門設置者は、設置後、顧客に本取扱説明書をお渡しになり、本取扱説明書を読み、後日参照できるよう適切な場所に保管するように伝えてください。

お読みになったあとは、大切に保管してください。

！ 警告

- 製品の設置については、販売店が指定する専門設置業者に依頼してください。
 - － 専門知識を持たない設置業者が製品を設置することは非常に危険であり、けがや破損の原因となります。
- 製品の設置後、移動または交換する前に、販売店が指定する専門設置者に連絡してください。
 - － 設置には特殊技能が要求されます。お客様ご自身で移動や設置を行うと、安全上の重大な問題が発生するおそれがあります。
- 製品を取り付けるときは、テレビの背面に電源コードや信号ケーブルをぶら下げないでください。
 - － コードが破損して、火災や感電の原因となったり、製品が破損したりすることがあります。
- 製品の重量を支えることができない場所に設置しないでください。
 - － 十分な強度のない場所に設置すると、製品が落下し、怪我につながるおそれがあります。
- 製品の設置後、製品にぶら下がったり、強い衝撃を与えたりしないでください。
 - － 製品が落下し、怪我につながるおそれがあります。

！ 注意

- 取扱説明書の指示に従って、製品を設置してください。
 - － 取扱説明書の指示に従わずに製品を設置すると、大けがを負ったり製品が破損したりするおそれがあります。
- 設置を進める前に、壁が利用可能であることを確認してください。製品に付属のアンカーとネジを使用してください。
 - － 未承認のアンカーまたはネジを使用すると、製品の重量を支えることができず、安全上の危険が発生するおそれがあります。
- 本製品を濡れた布で拭いたり、製品の設置場所の下や近くで暖房や加湿器を使用したりしないでください。
 - － 水または水蒸気が製品に入ったり、製品に過度な熱が加わったりすると、火災、感電、誤動作につながる場合があります。
- コンセントから電源コードを抜いてから製品を設置してください。
 - － コンセントに電源コードを接続したまま製品を設置すると、感電や火災の原因になることがあります。
- 付属のケーブルを使用して、製品を接続してください。未承認のケーブルを使用すると、壁との摩擦により、損傷につながるおそれがあります。付属のケーブルアダプターを必ず使用してください。（モデルにより異なる場合があります。）
- 製品を設置するとき、設置後に製品の高さを調整するときは、必ず2人以上で行ってください。
 - － 1人で設置または調整を行おうとすると、怪我または製品の損傷につながるおそれがあります。
- 設置用に壁に穴を開けるときは、指定された直径のドリルビットとドリルを使用してください。穴の深さについては、指示に従ってください。
 - － 取扱説明書の指定された方法に従わずに製品を設置すると、製品が安定せず、安全上の問題が発生するおそれがあります。
- スプリンクラー設備や火災探知機の近く、振動や衝撃が発生する場所、高圧電線や電源の近くに製品を設置しないでください。製品に問題が生じたり、破損するおそれがあります。
- 製品を設置するときは、素手で行わないでください。作業用手袋を必ず着用してください。
 - － 作業用手袋を着用せずに設置を行うと、怪我につながるおそれがあります。

壁掛けブラケットを設置する前に

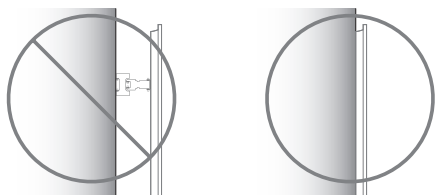
- 本製品は壁にテレビを取り付ける以外の用途に使用しないでください。
- 壁掛けブラケットを設置/使用する際は、製品が破損しないように注意し、安全上の問題が発生しないようにしてください。また、不適格な未承認の壁掛けブラケットを使用しないでください。
- 取扱説明書の手順に従うことで、簡単に壁掛けブラケットを取り付けることができます。
- 取扱説明書の手順が不明確な場合は、設置作業を中止し、販売店にお問い合わせください。
- 販売店に問い合わせた後も手順をよく理解できない場合は、設置業者に製品の設置を依頼してください。
- 本製品は、コンクリート製の壁または乾式壁の木製の間柱への設置をお勧めします。その他の材質（レンガ、合板、ブロックなど）への設置はおすすめできません。コンクリート製以外の壁に設置して発生した問題については、当社は責任を負いかねます。
- フルコンタクトな壁掛けを設置する場合、壁の状態によっては、テレビが壁にしっかりと密着しない場合があります。
- 製品は垂直な壁にのみ設置してください。
- 大きく傾いた壁または天井に設置しないでください。
- 傾きの大きな壁や天井に本製品を設置したことで生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

- 本製品を設置する前に、同梱の付属品がすべて揃っていることを確認してください。製品開封後に発生した付属品の破損や紛失については、当社は責任を負いかねます。
- 乳幼児が同梱の付属品を飲み込むと、窒息などのさまざまな安全事故が発生する可能性があります。同梱の付属品は乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- すべてのネジが十分に締め付けられていることを確認してください。ネジを締めるときは、無理な力を加えないでください。壁や製品が損傷したり、製品の剛性や性能が低下したりする可能性があります。
- 設置されたテレビが指定された最大引張荷重を超えないようにし、外部から力を加えないようにしてください。
- 安全上の問題を防ぐために、設置中の工具の取り扱いは慎重に行ってください。
- 製品の設置後、壁に密着するように取り付けられていることを確認してください。
- 製品が壁に密着して取り付けられていない場合、製品が不安定になり損傷するおそれがあります。

<設置用工具>

プラスドライバー（手動または電動）/水準器/ドリル/
スタッドファインダー Ø8 mm ドリルビット（コンクリートの場合）または Ø4 mm ドリルビット（スチールの場合）

壁にテレビを固定する方法

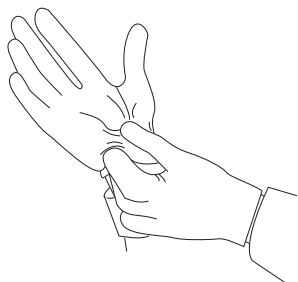


- 設置後は、テレビを壁に密着させて使用してください。

設置方法

- 本説明書に記載の図や工具のイラストは、実際とは異なる場合があります。
- 壁掛けブラケットを設置するときは、必ず専門家に相談してください。

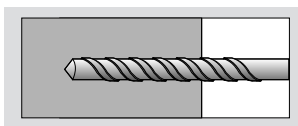
1 手袋を着用する。



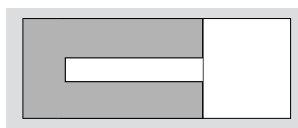
2 アンカーとネジの固定方法を行う。

コンクリート製の壁に設置する場合

- 1 Ø8 mmのドリルビットを使って、アンカーの位置に80 mmから100 mmの穴を掘削してください。

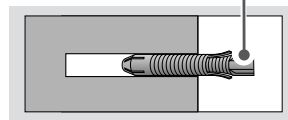


- 2 掘削した穴を掃除してください。

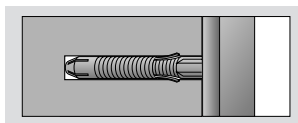


- 3 穴に壁掛けブラケットを固定するために、付属のネジを挿入してください。(アンカーを挿入するときは、ハンマーを使用してください。)

壁掛け固定アンカー

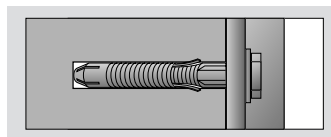
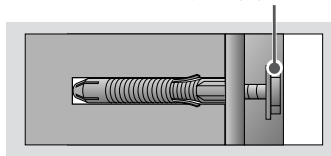


- 4 穴の位置を一致させるために、壁掛けブラケットを壁に向かって密接に押してください。



- 5 穴に壁掛けブラケットを固定するために、ネジを締めてください。この段階で、45 kgf/cm ~ 60 kgf/cmのトルクでネジを締めてください。

壁掛け固定ネジ

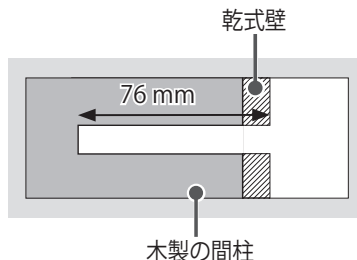


⚠ 注意

- 壁と仕上げ材の材質と厚さが取扱説明書に準拠していることを確認してください。取り付けプロセスを開始する前に、壁がテレビの重量を支えられることを確認してください。
- 必ず亀裂のないコンクリート製の壁に付属のアンカーとネジを使用してください。
- 石膏ボード、紙または中質繊維板 (MDF) 製の壁に製品を設置しないでください。そのような壁に製品を設置する必要がある場合は、アンカーネジを擁壁 (コンクリート) または仕上げ材内部の木製の柱に固定してください。
- 壁掛けブラケットは木製の柱に取り付けてください。個々の設置状況により木製の柱に取り付けることができない場合があります。この場合は、トグルボルトのような乾式壁用アンカーで解決できることがあります。もし、乾式壁用アンカーを使用する場合には、アンカーと壁がテレビの重さに耐えられることを確認してください。付属のアンカーが適したものではない場合は、販売店が指定する専門設置業者にご確認ください。
- 上記以外の材質の壁に製品を取り付ける場合は、固定される場所のそれぞれが引張負荷 70 kgf (686 N) および剪断負荷 100 kgf (980 N) 以上に耐えられるように製品を取り付けてください。
- コンクリートの場合は $\varnothing 8$ mm ドリルビットを、木製の柱の場合はハンマー (インパクト) ドリルまたは $\varnothing 4$ mm ドリルビットを使用して穴を開けてください。

乾式壁に設置する場合

木材用の $\varnothing 4$ mm ドリルビットを使用して、76 mm の深さの穴を開けてください。(掘削した穴を掃除してください。)



壁取り付けアンカーを使用せずに、壁取り付けネジを直接木製の間柱に固定してください。

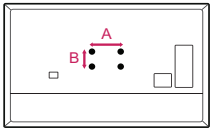
壁に取り付ける

壁掛けをする際は、LG製の壁掛けブラケットを使用することをおすすめします。壁掛け設置については、製品の性能、および安全確保のため、必ずお買い上げの販売店、または工事専門業者に施工をご依頼ください。

取り付け穴の位置は下記の表をご覧ください。本機はVESA基準に対応しています。LG製でない壁掛けブラケットを使用する時は、外部機器を接続するための十分な空間が確保された壁掛けブラケットを使用してください。

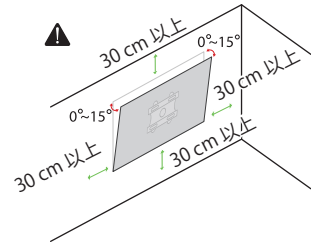
特に、ブラケットが可動式でなく固定式の壁掛けブラケットでは、テレビ画面にケーブルなどを接続してから壁掛けブラケットを取り付けてください。

設置の際のお取り扱いには十分ご注意ください。衝撃によって本機が破損することがあります。



本体背面図

機種	OLED97M3*
ネジの距離 (A × B) (mm) (VESA)	600 × 400
ネジ	M8 × 4
推奨壁掛けブラケット (別売りアクセサリー)	LSW640B



壁掛け設置の条件	
傾斜角度	0° ～ 15°

* 本仕様は壁掛け時に傾斜可能な製品にのみ適用されます。

※テレビ画面のより詳細な寸法は、当社ホームページ(<https://www.lg.com/jp/tv-audio-video>)からご確認ください。

テレビ画面の設置

スタンド設置

この方法では、スタンドを使用してテレビ画面を床の上に直立させて設置します。

- 設置時は、テレビ画面と天井、側面の壁、スタンド、背面の壁との間に少なくとも30 cmの距離を設けてください。

⚠ 注意

- テレビ画面は重量があるため、開梱や移動の際は少なくとも2名で垂直に持ち上げてください。
- ケーブルホルダーやケーブルの束線バンドをつかんで移動させないでください。その場合、テレビ画面の破損や怪我の原因となります。(モデルによって異なります)
- テレビ画面は無理に傾けないでください。その場合は落下する可能性があり、破損や怪我の原因となります。
- スタンドに手や指を挟んで怪我をしないように注意してください。

⚠ 注意

- テレビ画面を前方へ引き出すと、落下して怪我や損傷の原因となりますので、壁にしっかりと固定してください。
- テレビ画面背面のネジと、壁の固定用フックを同じ高さにして、設置後に傾かないようにしてください。続いて、丈夫なストラップを使用して、ネジと固定用フックをしっかりと縛ります。(固定用フック、ネジ、ストラップは別売りです。)

✓ ヒント

- 製品を組み立てるときに、ネジ部分に異物(油、潤滑剤など)を付着させないでください。その場合、製品が破損する原因となります。
- スタンドを組み立てる場合は付属のネジをすべて使い切ってください。また、しっかりと締め付けられているか、確かめてください。組み立てが不十分だと、テレビが傾いたり落下するなど、破損の原因となります。
- ネジを強く締めすぎると、ネジの接合部が摩耗してネジが外れる原因となります。

壁掛け設置

この方法では、壁掛けを使用してテレビ画面を壁へ水平に設置します。詳細は、別売りの壁掛け用ブラケットのガイドを参照してください。

- サポートを設置する前に、壁がコンクリート、天然石、レンガなど、テレビ画面の重量に耐えられる素材で作られていることを確かめてください。
- テレビ画面の排気口が塞がれないように、製品の周囲に十分な空間を設けてください。

⚠ 注意

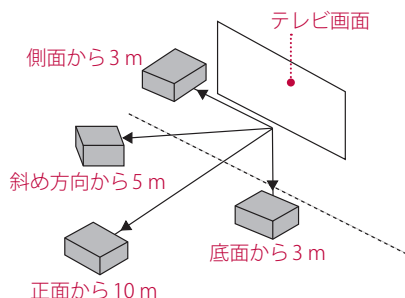
- 粘着性の壁掛けを使用すると、壁の状態によってはテレビ画面が壁に貼り付かない可能性があります。
- LG製の壁掛け製品を使用することが推奨されます。LG製以外の壁掛け製品を使用する場合は、壁との間に十分な距離が保たれるようにしてください。
- 壁掛け金具を使用する場合は、テレビ画面を設置する前にケーブルを接続してください。
- 専用のケーブルホルダーを使用して、テレビ画面の電源コードをまとめることができます。
- テレビ画面を設置する場合は、保護手袋を着用してください。保護手袋を着用していない状態で製品を設置すると怪我をする可能性があります。
- 粘着性の壁掛けを使用してテレビ画面を設置する場合は、壁に貼り付いた状態でのみ使用してください。テレビ画面が揺れたり傾いたりして、破損する可能性があります。
- 油や油気が接触する可能性のある場所には、壁掛けを設置しないでください。テレビ画面が破損する可能性があります。

ゼロコネクトボックスの設置

1 設置場所の選択

ゼロコネクトボックスはテレビ画面の正面、側面、下方、背後に設置できます。適切な設置方法は操作ガイドに従ってください。

- テレビ画面とゼロコネクトボックスの間に障害物がないようにしてください。その場合、無線信号転送と音声認識の機能に影響を与える可能性があります。
- ゼロコネクトボックスはテレビ画面の無線受信機より下方に設置してください。
- ゼロコネクトボックスの転送距離は、テレビ画面に対する方向に応じて異なります。以下の図を参照して、適切な距離内で設置してください。



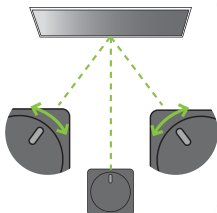
⚠ 注意

- 2台のワイヤレステレビやゼロコネクトボックスを同じ部屋に設置しないでください。相互干渉する可能性があります。
- ゼロコネクトボックスの上には電子デバイスや物体を置かないでください。その場合転送に干渉し、画面表示が乱れる場合があります。
- サウンドバーを使用する場合は、テレビ画面の無線信号受信機を塞がないようにしてください。

2 受信方向の調整（上下左右）

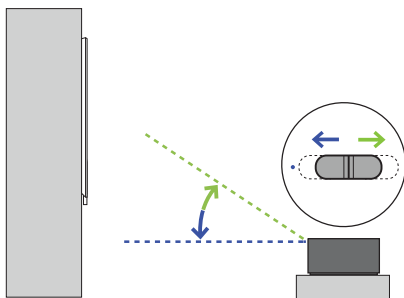
ダイヤル

ゼロコネクトボックス正面のLEDがテレビ画面の無線信号受信機の方向を向いていない場合、ダイヤルを左右に回し、ゼロコネクトボックスのワイヤレス信号送信方向を $0^{\circ} \sim 90^{\circ}$ の範囲で調整できます。



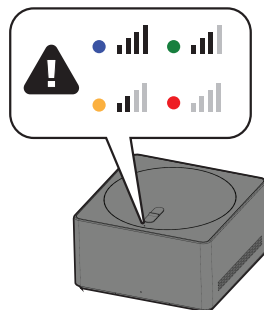
スライドボタン

ゼロコネクトボックスのワイヤレス信号の送信方向がテレビ画面の無線信号受信機の方向を向いていない場合、スライドボタンを上下に調整し、ゼロコネクトボックスの無線信号送信方向を $0^{\circ} \sim 50^{\circ}$ の範囲で調整できます。



3 ワイヤレス信号強度の確認

基本的な配置と設定を終えた後、テレビの電源を入れて、ゼロコネクトボックス上部のLEDの色で、信号強度を確認します。色は青（強）、緑（中）、黄（弱）、赤（切断）です。



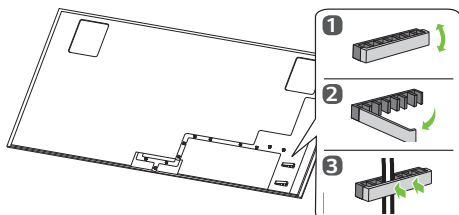
⚠ 注意

- 上部LEDが赤色の場合、転送経路上に障害物がないこと、製品が正しい位置で適切に設置されていることを確かめてください。
- 上部LEDが黄色または緑色の場合、ダイヤルとスライドボタンを使用して、ゼロコネクトボックスの受信方向が正しく設定されていることを確かめてください。
- 製品を清掃したり動かしたりすることで、設置環境が変化し、画面が表示されないことがあります。ゼロコネクトボックス上部のLEDの色を確認して、適切に調整してください。

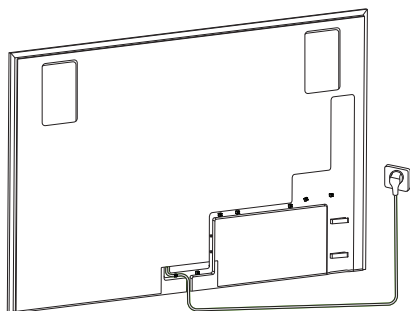
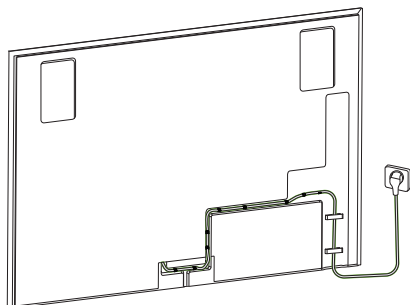
ケーブルをまとめる

付属のケーブルホルダーでケーブルをまとめます。

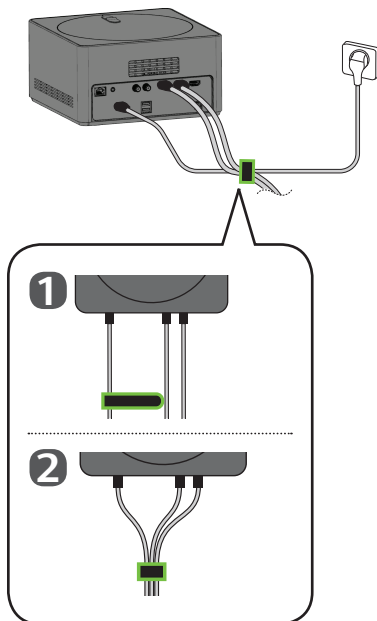
1



2



3



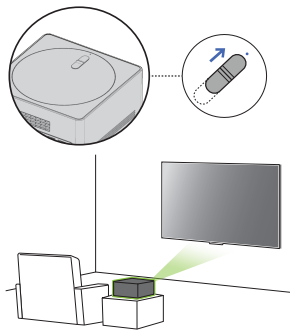
⚠ 注意

- 本機を移動させるときは、ケーブルを留めているケーブルホルダーを取り外してください。
- ケーブルの破損、および本機の故障につながる可能性があります。

推奨される設置方法

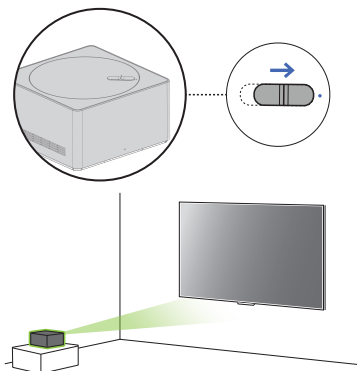
テレビ画面の真正面に設置する場合

- 1 テレビの電源を入れる前に、ゼロコネクトボックス正面のLEDが**テレビ画面の無線信号受信機**の方向を向くようにします。
- 2 正面のLEDがテレビ画面の無線信号受信機に向いていない場合、ゼロコネクトボックス上部のダイヤルを左右に回して、スライドボタンが無線信号受信機の方向を向くようにします。
- 3 ゼロコネクトボックスのスライドボタンを**上部のLED**に向けます。
 - ダイヤルとスライドボタンの調整が終了すると、信号の送信と受信の経路は下図のように、緑色の照射方向に収まります。
- 4 テレビの電源を入れた後、ゼロコネクトボックスの上部LEDが青色に点灯していることをご確認ください。
 - LEDが青色にならない場合は、ダイヤルとスライドボタンを再度調整して、アンテナレベル(信号強度)が基準値の範囲になるようにしてください。
 - アンテナの転送経路に障害物があれば取り除きます。
 - テレビ画面から10 m以内の距離にゼロコネクトボックスを設置します。(テレビ本体の受口部との間に障害物がないことを今一度ご確認ください。)
 - ゼロコネクトボックスの信号送信角度は左右にそれぞれ45°以内です。テレビ画面が45°の範囲外にある場合、斜め方向または側面の設置方法を参照してください。



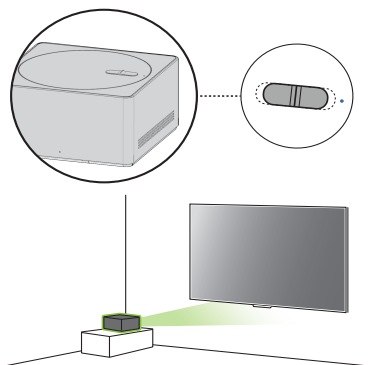
テレビ画面の斜め前に設置する場合

- 1 テレビの電源を入れる前に、ゼロコネクトボックス正面のLEDが**テレビ画面の無線信号受信機**の方向を向くようにします。
- 2 正面のLEDがテレビ画面の無線信号受信機に向いていない場合、ゼロコネクトボックス上部のダイヤルを左右に回して、スライドボタンが無線信号受信機の方向を向くようにします。
- 3 ゼロコネクトボックスのスライドボタンを**上部のLED**に向けます。
 - ダイヤルとスライドボタンの調整が終了すると、信号の送信と受信の経路は下図のように、緑色の照射方向に収まります。
- 4 テレビの電源を入れた後、ゼロコネクトボックスの上部LEDが青色に点灯していることをご確認ください。
 - LEDが青色にならない場合は、ダイヤルとスライドボタンを再度調整して、アンテナレベル(信号強度)が基準値の範囲になるようにしてください。
 - アンテナの転送経路に障害物があれば取り除きます。
 - テレビ画面から5 m以内の距離にゼロコネクトボックスを設置します。(テレビ本体の受口部との間に障害物がないことを今一度ご確認ください。)



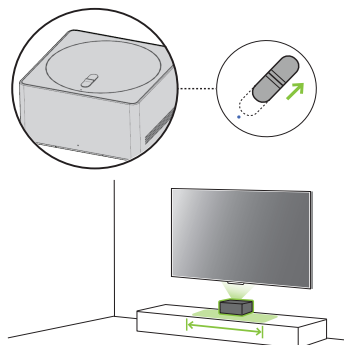
テレビ画面の側面に設置する場合

- 1 テレビの電源を入れる前に、ゼロコネクトボックス正面のLEDが**テレビ画面の無線信号受信機**の方向を向くようにします。
- 2 正面のLEDがテレビ画面の無線信号受信機を向いていない場合、ゼロコネクトボックス上部のダイヤルを左右に回して、スライドボタンが無線信号受信機の方向を向くようにします。
- 3 ゼロコネクトボックス正面のLEDが視聴方向を向いている場合、90°の角度になるまでダイヤルを左右に回してください。
- 4 ゼロコネクトボックスのスライドボタンを**中央**に合わせます。
- 5 ダイヤルとスライドボタンの調整が終了すると、信号の送信と受信の経路は下図のように、緑色の照射方向に収まるようになります。
- 6 テレビの電源を入れた後、ゼロコネクトボックスの上部LEDが青色に点灯していることをご確認ください。
- 7 LEDが青色にならない場合は、ダイヤルとスライドボタンを再度調整して、アンテナレベル(信号強度)が基準値の範囲になるようにしてください。
- 8 アンテナの転送経路に障害物があれば取り除きます。
- 9 テレビ画面から3m以内の距離にゼロコネクトボックスを設置します。(テレビ本体の受口部との間に障害物がないことを今一度ご確認ください。)
- 10 フロアスタンドを使用する場合、ゼロコネクトボックスの無線送信機を塞がないよう、スタンドの位置を調整してください。



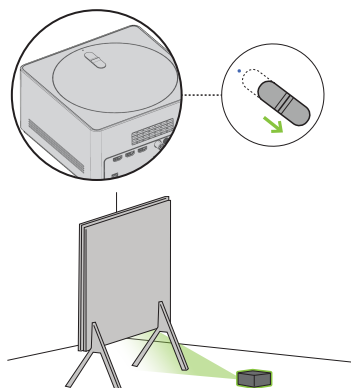
テレビ画面の下に設置する場合

- 1 テレビの電源を入れる前に、ゼロコネクトボックス正面のLEDが**テレビ画面の視聴者の方向**を向くようにします。
- 2 ゼロコネクトボックス上部のダイヤルを左右に回して、スライドボタンが視聴者の方向を向くようにします。
- 3 ゼロコネクトボックス上部のスライドボタンを**上部LEDの反対方向**へ調整します。
- 4 ダイヤルとスライドボタンの調整が終了すると、信号の送信と受信の経路は下図のように、緑色の照射方向に収まります。
- 5 テレビの電源を入れた後、ゼロコネクトボックスの上部LEDが青色に点灯していることをご確認ください。
- 6 LEDが青色にならない場合は、ダイヤルとスライドボタンを再度調整して、アンテナレベル(信号強度)が基準値の範囲になるようにしてください。
- 7 アンテナの転送経路に障害物があれば取り除きます。
- 8 テレビ画面から3m以内の距離にゼロコネクトボックスを設置します。(テレビ本体の受口部との間に障害物がないことを今一度ご確認ください。)
- 9 ゼロコネクトボックスをテレビ画面の下方に設置する場合は、図に示される範囲内で行ってください。



テレビ画面の背後に設置する場合

- 1 ゼロコネクトボックスをテレビ画面の無線受信機より下方に配置します。
- 2 テレビの電源を入れる前に、ゼロコネクトボックス正面のLEDがテレビ画面の無線信号受信機の方を向くようにします。
- 3 正面のLEDがテレビ画面の無線信号受信機を向いていない場合、ゼロコネクトボックス上部のダイヤルを左右に回して、スライドボタンが無線信号受信機の方を向くようにします。
- 4 ゼロコネクトボックス上部のスライドボタンを上部LEDの反対方向へ調整します。
 - ダイヤルとスライドボタンの調整が終了すると、信号の送信と受信の経路は下図のように、緑色の照射方向に収まるようになります。
- 5 テレビの電源を入れた後、ゼロコネクトボックスの上部LEDが青色に点灯していることを確かめます。
 - LEDが青色にならない場合は、ダイヤルとスライドボタンを再度調整して、アンテナレベル(信号強度)が基準値の範囲になるようにしてください。
 - アンテナの転送経路に障害物があれば取り除きます。
 - テレビ画面から1m以内の距離にゼロコネクトボックスを設置します。(テレビ本体の受口部との間に障害物がないことを今一度ご確認ください。)
 - ゼロコネクトボックスが塞がれないように、フロアスタンドの脚の間に配置します。



接続する

アンテナを接続する

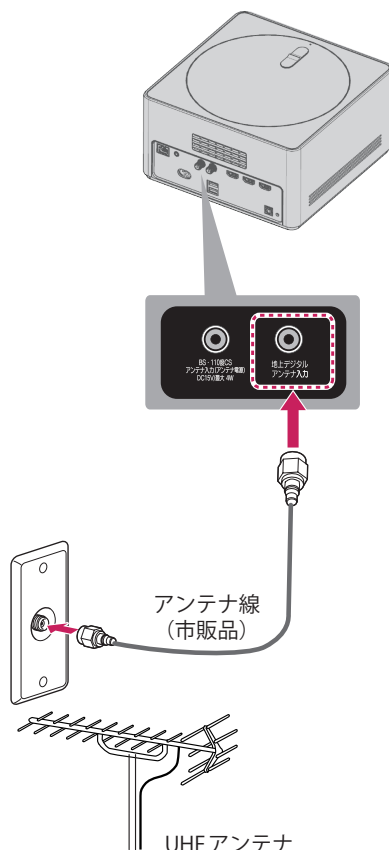
アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、販売店にご相談ください。

地上デジタル放送用アンテナをつなぐ

地上デジタル放送を視聴するには、UHFアンテナをゼロコネクトボックスに接続します。地域によってはアンテナの取り換えや方向の調整、増幅器（ブースター）の取り付けが必要となることがあります。また、状況によっては減衰器（アッテネーター）の取り付けが必要となる場合もあります。

尚、減衰器（アッテネーター）は、設定ボタン
⇒  **⇒ 機器設定 ⇒ チャンネル ⇒ チャンネルスキャンと設定 ⇒ アンテナ設定 ⇒ 地デジの減衰器**をオンに設定することで調整できます。

詳しくは、販売店にご相談ください。



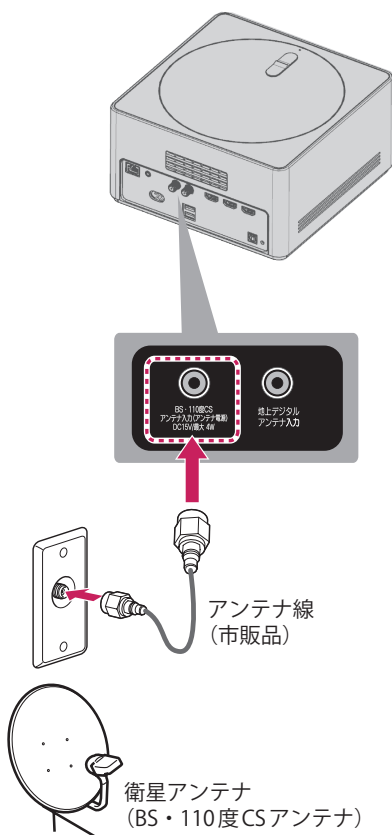
✓ ヒント

- アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用を推奨します。
- 室内アンテナの利用は妨害電波を受けやすいので、避けてください。
- アンテナ線に対して、電源コードや他の接続コード類をできる限り離してください。

衛星放送用アンテナをつなぐ (BS・110度CSアンテナ)

BS・110度CSデジタル放送およびBS・110度CS4K放送を視聴するには、衛星アンテナをゼロコネクボックスに接続します。

BS・110度CSデジタル放送およびBS・110度CS4K放送を見るための、衛星アンテナの設置には技術が必要です。設置するときには販売店に設置を依頼されることを推奨します。また、アンテナの取扱説明書もよくご覧ください。

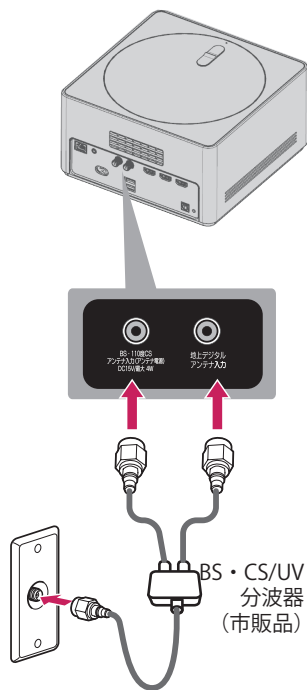


✓ ヒント

- 衛星放送を他の機器と分配して視聴する場合、分配器は必ず電流通過型のものをご使用ください。電流通過型でない場合は、アンテナに供給している機器の電源を切ると、他の機器で衛星放送が受信できなくなります。
- ブースターや分配器をご使用になる場合は、110度CS対応(周波数2,150MHz対応以上)であることをご確認の上、ご使用ください。
- 衛星放送の電波は微弱なため、受信するにはアンテナやテレビなどの正確な調整が必要です。天気が悪いときには電波が弱くなり、一時的に画面や音声が止まったりする場合があります。これは、気象条件によるもので、アンテナやテレビの故障ではありません。
- 「BS・110度CS4K放送」とは、2018年12月から放送開始された新4K8K衛星放送の4K放送のことで、右旋円偏波の電波と、左旋円偏波の電波で提供されます。
- BS・110度CS4K放送(左旋)を受信するには、左旋に対応したアンテナ、ブースター、分配器、分波器などの受信設備が必要です。受信設備に使用する機器は、3.2GHz対応の機器を使用してください。
- BS・110度CS4K放送以外の4K放送をご覧になるには、別途4K放送受信チューナーなどが必要です。すべての4K対応機器との接続動作や視聴を保証するものではありません。
- 本機は、8K放送には対応していません。
- 新4K8K衛星放送については下記のホームページをご参照ください。
(一社)放送サービス高度化推進協会(A-PAB)
<https://www.apab.or.jp/4k-8k/>

マンションなどの共同受信システムにつなぐ

地上放送と衛星放送の電波が混合されて壁のアンテナ端子に届いている場合は、以下のように接続してください。



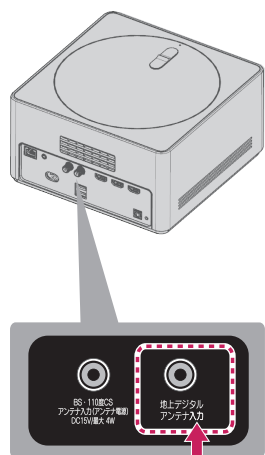
✓ ヒント

- ・ マンションなどの共同受信システムの場合で、110度CSデジタル放送に対応していない場合は、110度CSデジタル放送を受信できません。視聴できる放送の種類については、マンションなどの管理会社にご確認ください。
- ・ マンションなどでの共同受信システムの場合は、本機からBS・110度CS共用アンテナ用の電源を供給する必要はありません。
設定ボタン⇒⇒機器設定⇒チャンネル⇒チャンネルスキャンと設定⇒アンテナ設定⇒衛星/衛星(4K/8K)⇒アンテナ電源供給をオフに設定してください。

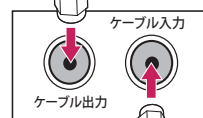
ケーブルテレビ放送 (CATV) を見る場合

アンテナ線でつなぐ場合

放送電波の周波数や形態をそのまま受信するパススルー方式の場合、セットトップボックス(ケーブルテレビ専用チューナー)のアンテナ出力端子(端子名は例です)と本機の地上デジタルアンテナ入力端子を接続すれば地上デジタル放送を見ることができます。



アンテナ線
(市販品)

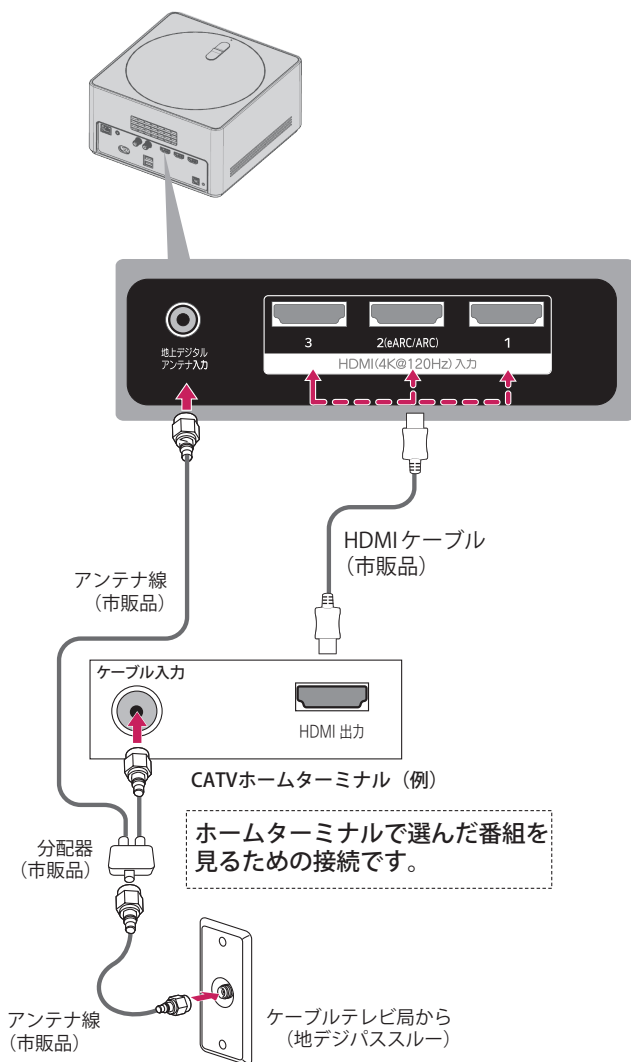


アンテナ線
(市販品)

ケーブルテレビ局から
(地デジパススルー)

ホームターミナルから地上デジタル放送の電波が出力されないとき

地上デジタル放送の再送信電波が出力されないホームターミナルの場合は、UHFに対応した市販の分配器を使用して、以下のように接続してください。

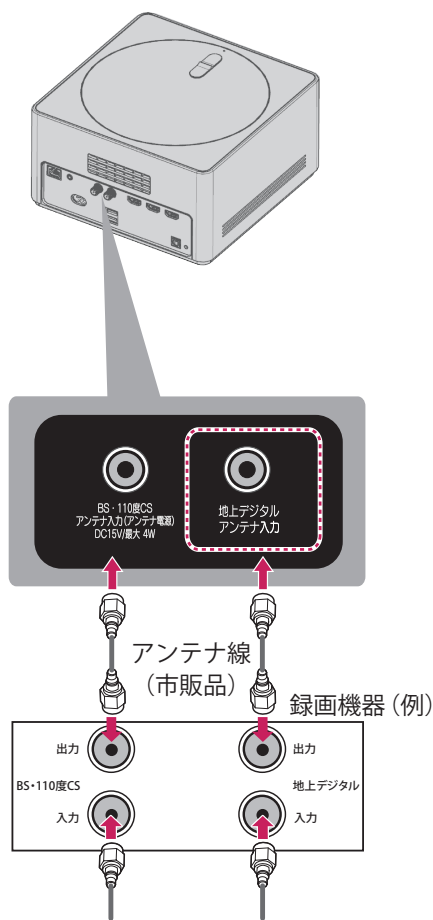


アンテナをゼロコネクトボックスと録画機器に接続する

録画機器を経由する場合

BS・110度CSアンテナ用電源は録画機器から供給してください。

設定ボタン⇒⇒機器設定⇒チャンネル⇒チャンネルスキャンと設定⇒アンテナ設定⇒衛星/衛星 (4K/8K)⇒アンテナ電源供給をオフに設定してください。



BS・110度CS放送 地上デジタル放送

✓ ヒント

- テレビが映らないとき
 - アンテナを上図のようにテレビと録画機器それぞれに接続しても、テレビが映らないまたは映りが悪い場合は、録画機器を経由しないで本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。
 - 録画機器の電源プラグが抜けていると、アンテナ出力端子に電波が出力されない場合があります。

症状が改善されない場合は、**困ったとき** (45ページ) をご覧ください。

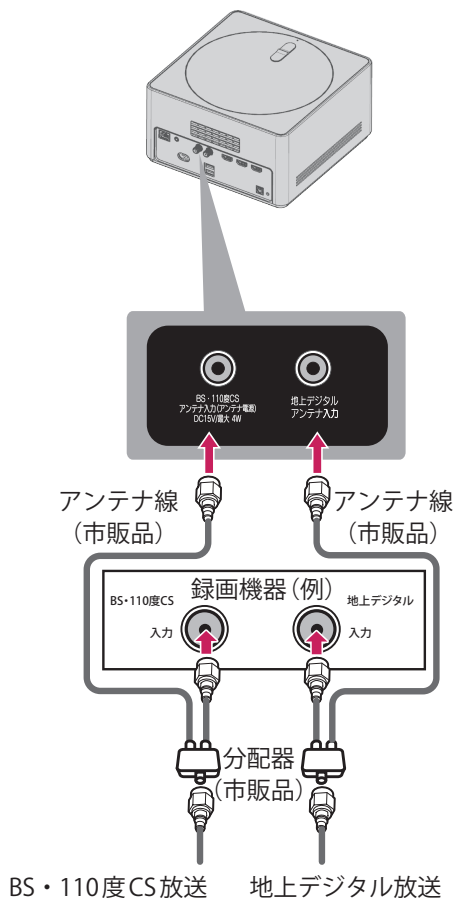
ゼロコネクトボックスと録画機器に分配する場合

録画機器にアンテナ出力端子がない場合や、録画機器やゼロコネクトボックスが複数ある場合などは、分配器を使って接続することもできます。

録画機器を経由するとテレビ画面がよく映らない場合などにもこの接続をお試しください。

✓ ヒント

- 録画機器で受信した番組や録画した番組を見るための接続については、**BD・DVDプレーヤー/レコーダー、ビデオ**を接続する(37ページ)をご覧ください。
- BS・110度CS共用アンテナは電源を必要とします。BS・110度CS/UV混合器や分波器は、本機のBS・110度CSアンテナ入力端子からアンテナ電源が供給できるように、電流通過型のものが必要になります。

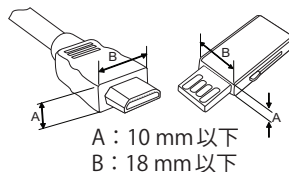


外部機器を接続する

各種外部機器を本機背面の端子に接続します。

✓ ヒント

- HDMI ケーブルや USB 機器を確実に接続するために、図の A 部分の厚さが 10 mm 以下、B 部分の幅が 18 mm 以下の製品をお使いください。
- USB ケーブルや USB メモリーが本機の接続端子に合わないときは、USB2.0 対応の延長ケーブルを使用してください。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証された HDMI ケーブルをご使用ください。次の HDMI ケーブルのご使用を推奨します。(3 m 以下)
 - ウルトラ ハイスピード HDMI[®]/TM ケーブル
- 保証されていない HDMI ケーブルや推奨でない HDMI ケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- テレビの音声はサウンドバー（外部オーディオデバイス）へ送信できます。(国ごとに異なります)
 - 音声を有線で送信 (光デジタル、HDMI ARC) する場合は、ゼロコネクトボックスの背面にある外部端子へ接続できます。
 - WOWCAST をサポートする当社のサウンドバーへ、WOWCAST 機能を通じて無線で音声を送信できます。



BD・DVDプレーヤー／レコーダー、ビデオを接続する

ビデオやDVDプレーヤーなどを再生するための接続です。

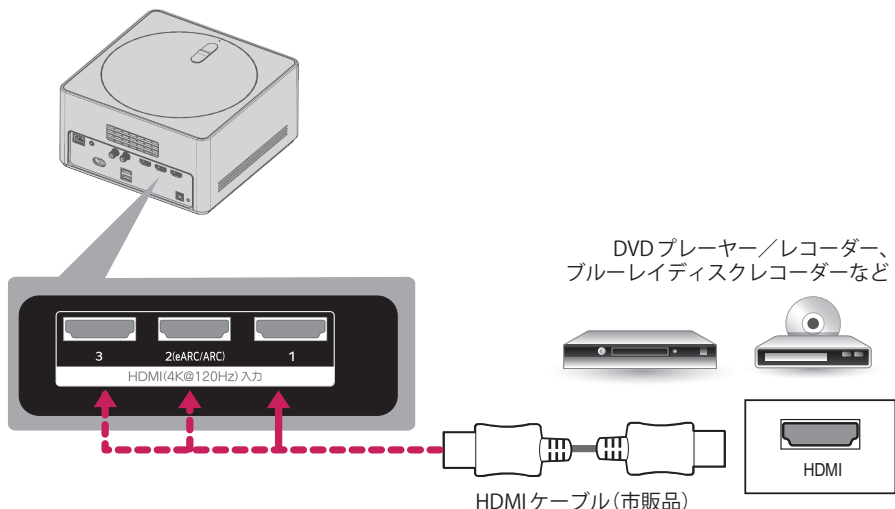
HDMI 端子に接続する

HDMIケーブルで接続すると、高画質と高音質でお楽しみいただくことができます。

本機のHDMI入力端子に接続してください。

HDMI入力端子に外部機器を接続するときは、ゼロコネクトボックスおよび外部機器の電源をオフにし、コンセントを抜いた状態で接続してください。

HDMI入力のどの端子でも接続できます。

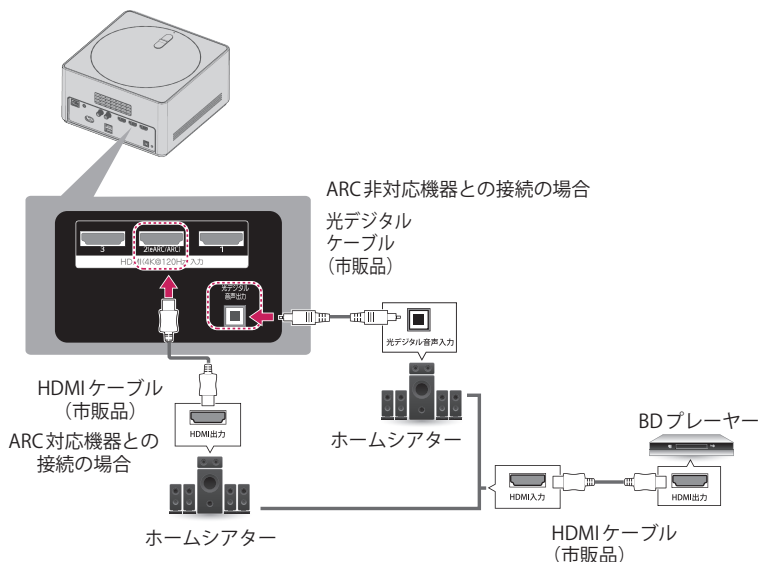


✓ ヒント

- SIMPLINKを利用するには、CEC (Consumer Electronics Control) 対応の最新 HDMI ケーブルを使用してください。
- HDMI端子に外部機器を接続して高画質な映像を視聴する場合には、市販の高画質用の HDMI ケーブルのご使用をおすすめします。
- HDMIの対応信号は、それぞれの端子で異なります。HDMI 端子に外部機器を接続するときは、テレビに内蔵の操作ガイドで、「HDMI の対応信号」を確認してください。
- HDMI端子は、Ultra HD ディープカラーをサポートしており、特に高画質な映像をお楽しみいただくための仕様に適しています。Ultra HD ディープカラーに対応した外部機器を接続するときは、設定ボタン➡**⊙**➡**機器設定**➡**外部デバイス**➡**HDMI 設定**➡**HDMI Ultra HD ディープカラー**の設定をオンにして HDMI に接続してください。外部機器の仕様によっては、この設定で HDMI 端子に接続した際に映像や音声で正常に再生できないことがあります但那場合は、設定ボタン➡**⊙**➡**機器設定**➡**外部デバイス**➡**HDMI 設定**➡**HDMI Ultra HD ディープカラー**をオフにしてください。
- 対応のオーディオフォーマットは、テレビに内蔵の操作ガイドで、「デジタル音声出力」を確認してください。
- 出力する機器側の信号切り換えや操作により画面や音声にノイズが入る場合がありますが、故障ではありません。

オーディオ機器を接続する

本体スピーカーの代わりにオーディオ機器をつないで迫力ある音声を楽しめます。



ARC 対応機器を接続したときは、設定ボタン➡**⑤**➡**音声**➡**スピーカー設定**➡**有線スピーカーの使用**を **HDMI(ARC) デバイス** に設定してください。

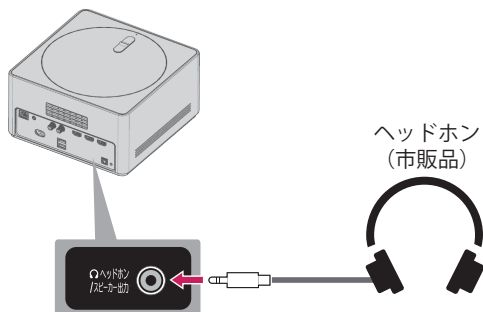
光デジタル音声入力機器を接続したときは、**光デジタル音声出力デバイス** に設定してください。

✓ ヒント

- 本体スピーカーの代わりに外部機器を使用する場合は、設定ボタン➡**⑤**➡**音声**➡**スピーカー設定**の **本体スピーカーの使用**以外の該当の項目を設定してください。
- 光デジタル音声出力端子の中のをのぞき込まないでください。レーザービームで目を傷めることがあります。
- 著作権が保護 (ACP) されている音声は出力されないことがあります。
- 本機が出力する光デジタル音声出力のサンプリング周波数は、PCM の場合 48kHz または 32kHz です。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵していない MD レコーダーには、デジタル信号のまま録音することはできません。
- 設定ボタン➡**⑤**➡**音声**➡**スピーカー設定**➡**有線スピーカーの使用**が **光デジタル音声出力デバイス** に設定されているとき、AAC 音声では、データ放送の一部の音声 (効果音など) が光デジタル音声出力端子からは出力されないことがあります。
- 光デジタル音声出力がパススルーの場合、AAC 音声では、主音声・副音声の切り換えを本機では行わないことがあります。その場合は AAC デコーダー側で切り換えてください。
- 本機と HDMI の ARC 対応ホームシアターでは、光デジタルケーブルで接続しなくても、HDMI ケーブルで下記の接続をすることでデジタル音声を楽しむことができます。
本機 (ARC) ⇄ ホームシアター (ARC) ⇄ BD/DVD プレーヤー。
SIMPLINK (HDMI-CEC) については、テレビに内蔵の「操作ガイド」をご覧ください。
- スピーカー設定**を **HDMI(ARC) デバイス** に設定すると設定ボタン➡**⑤**➡**機器設定**➡**外部デバイス**➡**HDMI 設定**➡**SIMPLINK (HDMI-CEC)** は、自動的にオンに設定されます。

ヘッドホンを接続する

本機にヘッドホンを接続して楽しむことができます。本機のヘッドホン端子にヘッドホンをつなぎます。



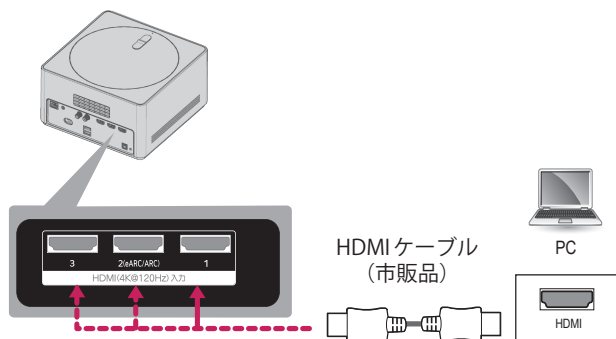
✓ ヒント

- ヘッドホンをつないだときは、設定メニューで**音声**の設定は**画面とサウンドを合わせる**のみ設定できます。その他の音声の設定はできません。

PCを接続する

HDMI接続

HDMI入力のどの端子でも接続できます。PC画面を高画質で表示することができます。
HDMI入力端子に外部機器を接続するときは、ゼロコネクトボックスおよび外部機器の電源をオフにし、コンセントを抜いた状態で接続してください。

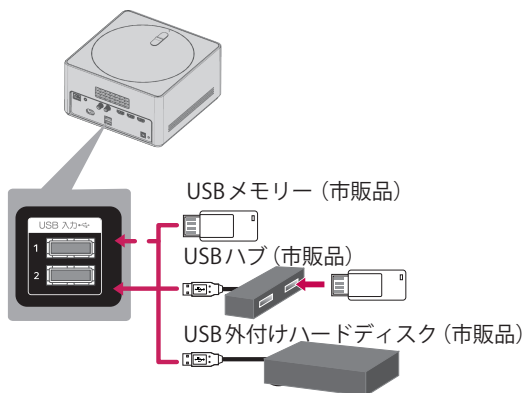


ヒント

- グラフィックカードによっては、DVIケーブルにHDMIが使用されている場合、DOSモードが機能しない場合があります。
- PCモードでは、解像度、垂直パターン、コントラスト、明るさに関連するノイズが発生する場合があります。ノイズがある場合、PC出力を別の解像度に変更し、リフレッシュレートを別のレートに変更するか、設定ボタン➡**映像➡詳細設定➡明るさ➡コントラスト**の調整などで映像がクリアになるまで調整してください。
- 水平または垂直周波数の同期入力形式はセパレートです。
- グラフィックカードによっては、特定の解像度設定で映像を画面に正しく表示できない場合があります。
- 画面に静止映像を長時間表示させないでください。静止映像が画面に焼き付く場合があります。
- HDMI-PCを1920 x 1080で使用しているときに映像が画面からはみだした表示（オーバースキャン）になることがあります。設定ボタン➡**映像➡画面サイズ➡ジャストスキャン**をオンに変更してください。
- Ultra HDのコンテンツをPCで再生するときは、PCの性能による映像/音声の途切れなどが生じることがあります。

USB 機器を接続する

USB メモリーや USB 外付けハードディスクを USB 端子につないで、番組の録画や写真 & 動画アプリでコンテンツを楽しめます。



ヒント

- USB ハブは、AC アダプターを電源コンセントに接続して電源を供給するタイプのものを推奨します。
- USB 端子から電源を共有するタイプでは、接続した USB 機器が安定して動作しないことがあります。
- USB 端子に USB ハブを経由して複数の USB 機器などを接続した場合や、USB 機器を USB 延長ケーブルを使用して接続した場合、正常に動作しないことがあります。
- 写真、音楽および動画が記録された USB メモリーは、どの USB 端子でも接続できます。
- 本機の USB 端子のバージョンは 2.0 です。
- 録画用で使用する USB 外付けハードディスクは USB ハブを介した接続には対応していません。必ず USB 端子に直接接続してください。
- USB メモリーの転送速度は、メモリー装置ごとに異なった速度が検知されます。USB 2.0 未満の USB 機器もサポートされています。
- 一部の USB 機器はサポートされないことや、正常に動作しないことがあります。
- USB 機器が正常に作動しない場合には、一度 USB 機器を取り外したあとで、差し直してください。
- USB 機器を取り外す際は、リモコンの  入力切替ボタンを押して表示する入力機器で該当の USB 機器を選択することで上部に表示される **[取り外し]** を押して外してください。
- USB ハードディスクのフォーマットシステムは、Windows オペレーティングシステムが利用する NTFS、FAT32、あるいは exFAT のファイルシステムのみサポートします。
Windows がサポートしないユーティリティプログラムでフォーマットした USB ハードディスクは、認識されないことがあります。
- 録画用で使用する USB 外付けハードディスクは、**ホームハブ** から該当の USB 外付けハードディスクを選択してフォーマットすることもできます。
- 外部電源を必要とする USB 機器では、電源を必ず接続してください。電源を接続しないと、USB 機器が認識されないことがあります。
- 接続する USB 機器は、電圧 5V、定格電流 500mA 以下で使用してください。もし許容電圧 / 電流以上の機器を使用した場合、電源不足で正常に動作しなくなることがあります。

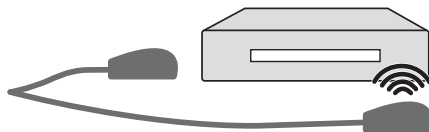
✓ ヒント

- USB 機器との接続には、該当機器の製造メーカーが提供する接続ケーブルを使ってください。製造メーカーが提供するケーブル以外のケーブルや、過剰に長いケーブルを使用した場合、USB 機器が認識されないことがあります。
- ファイルパス名は247文字まで認識可能です。フォルダーやファイルの名前が長すぎると、表示や認識が正しく行われません。
- USB 外付けハードディスクの推奨記憶容量は4TB 以下です。推奨記憶容量を超える装置は、正しく動作しないことがあります。
- USB 機器上のデータは、損傷を受けることがあります。データの損傷、損失や直接または間接の損害について、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- USB 外付けハードディスク上に記録保存した録画コンテンツを保存しておきたい場合には、そのUSB 外付けハードディスク自体を保存して、新しいUSB 外付けハードディスクを取り付けてください。
- 本機対応の写真、音楽、動画ファイルの詳細は、テレビ本体に内蔵している「操作ガイド」をご確認ください。
- テレビ側の修理でテレビの主要部分を交換したり、テレビ本体を交換したときはハードディスクに録画したコンテンツは再生できなくなります。
- 本機にUSB ハードディスクを接続してご使用する場合は、本書の[その他>使用上のご注意>USB ハードディスク]などについてもご確認ください。

IR ブラスターを接続する

ハンズフリー音声認識機能などで、BD・DVD プレーヤー、ホームシアター、セットトップボックスやゲーム機などの外部機器を操作するために、ゼロコネクトボックスにIR ブラスターを接続します。

IR ブラスターは本機のIR ブラスター端子に接続し、下図のようにIR ブラスターの送信部（1 つまたは2 つ）を外部機器の前に付属のテープで固定してください。



✓ ヒント

- ユニバーサルコントロールで外部機器を制御するには、設定ボタン➡**Ⓢ**➡**機器設定**➡**外部デバイス**➡**ユニバーサルコントロールの設定**で、設定します。ユニバーサルコントロールについての詳細は、テレビに内蔵の操作ガイドで、「ユニバーサルコントロール」をご確認ください。
- ハンズフリー音声認識機能を使用するには、設定ボタン➡**Ⓢ**➡**機器設定**➡**AI サービス**➡**音声認識の設定**で、**ハンズフリー音声認識を使用する**をオンに設定します。音声認識機能で利用できる文例は、設定ボタン➡**Ⓢ**➡**機器設定**➡**AI サービス**➡**音声認識のヘルプ**で確認できます。また、このメニューの右上に表示される**Ⓢ**ボタンを選択することでも、**音声認識の設定**を表示することができます。
- ゼロコネクトボックスをテレビ画面の下以外の場所に設置する場合、IR ブラスターを接続して、テレビのリモコンを通じて外部デバイス（セットトップボックスなど）を正常に操作できるようにすることを推奨します。

困ったとき

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、お問い合わせされる前に、下記の内容を一度お確かめください。
症状が改善しない場合は、ご自分では絶対に修理せず、当社カスタマーセンターへご相談ください。カスタマーセンターの問い合わせ先は、59ページをご覧ください。

全般

このようなときは	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	-
リモコンが動作しない	乾電池の極性(⊕, ⊖)が逆になっていませんか？	14
	リモコンの乾電池が消耗していませんか？	
	リモコンの操作可能範囲で操作していますか？	
	マジックリモコンのテレビ画面とのペアリングを再度行ってみてください。	
映像も音声も出ない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	-
	ビデオ入力などの外部機器入力を選んでいませんか？	15
	チャンネルスキャンはしましたか？	操作ガイド
主電源を入れてから、映像・音声が出るのに時間がかかる	映像と音声が出るまでに、15秒程度の時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。1分以上待っても出ない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて1分程度置いてから入れ直してみてください。	-
色が薄い/色合いが悪い	映像の設定で、色深度、色合いは正しく調整されていますか？	操作ガイド
映像は出るが音声が出ない	音量が最小になっていませんか？	15
	消音状態になっていませんか？	15
	ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか？	39
特定のチャンネルだけ映らない	チャンネルがスキップされていませんか？	操作ガイド
	設定ボタン⇒⇒機器設定⇒システム⇒地域設定⇒地域設定は正しく行われていますか？	操作ガイド
勝手に電源が切れる	設定ボタン⇒⇒機器設定⇒システム⇒時刻とタイマー設定⇒タイマー⇒オフタイマー、設定ボタン⇒⇒機器設定⇒映像省エネ設定⇒無信号自動オフ/無操作自動オフが設定されていませんか？	操作ガイド
	本機内部の温度が異常に上昇し、内部保護回路が動作した可能性があります。	53
全ての操作ボタンを受け付けない	リモコンの乾電池が消耗していませんか？	14
本機で全く操作できない	リモコンの乾電池に問題がない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、再度電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンボタンを操作してください。	-

このようなときは	ここをお調べください	ページ
テレビ画面本体から「カチッ」と音がする	番組などを受信する際に、内部の回路が切り換わる音になります。	-
テレビ画面本体や内部から「ピシッ」「パシッ」と音がする	室温の変化によって、キャビネットのプラスチックの伸縮時に発する音です。性能に影響はありません。	-
いつでもOKの機能を有効してテレビをオフにした状態にしているが、モーションセンサーで自動的にテレビがオンにならない	- モーションセンサーは一部のモデルのみサポートしています。 モーションセンサーで画面をオンの設定を有効にしていますか？ この設定は、いつでもOK機能が動作しているときに、マジックリモコンの① ホイール (決定) を押した後、右ボタン押すことで表示されるオプションを選択して、右上の② いつでもOKの設定で行うことができます。 - モーションセンサーはテレビ画面の中央下部にあります。 - モーションセンサーに異物が付着していると、正常に動作しないことがあります。 - テレビ画面の周囲が明るすぎたり暗すぎたりすると、モーションセンサーが正常に動作しないことがあります。 - テレビの前面に障害物があると、モーションセンサーの検出機能に影響を与えることがあります。 - テレビ画面周辺の照明の変化や物体 (ペット / ロボットクリーナーなど) の動きを認識して操作できます。 - モーションセンサー機能は、いつでもOKの設定で無効にすることができます。設定ボタン➡③➡機器設定➡いつでもOK➡機能を有効にするの設定をオフにしていつでもOK機能を無効にすることでも、モーションセンサーの機能は無効になります。モーションセンサーで画面をオンにする機能は、いつでもOKの設定➡モーションセンサーの感度でモーションセンサーの感度を調整できます。	-
ゼロコネクトボックスの接続図が画面に表示される	- テレビ画面とゼロコネクトボックスの間にある障害物を取り除きます。 - ゼロコネクトボックス上部のダイヤルを左右に回します。 - ゼロコネクトボックス上部のスライドボタンを上下にスライドさせます。	
電源接続の画像が画面に表示される	電源コードをゼロコネクトボックスへ接続します。	
ハンズフリー音声認識が正常に動作しない	- ゼロコネクトボックスの正面をユーザーに向けます。 - ゼロコネクトボックス上部のダイヤルを左右に回して、スライドボタンがテレビ視聴者の方に向くようにします。 - 設定ボタン➡③➡機詳細設定 ➡ AI サービス ➡ 音声認識の設定画面から、ハンズフリー音声認識を使用するメニューを開きます。(モデルによって異なります)	

アンテナ

アンテナ工事には、技術と経験が必要です。必ず販売店へご相談ください。

このようなときは	ここをお調べください	ページ
映像が出ず、雑音のみ出る	- アンテナ線が外れたり、ショートしたりしていませんか？ - アンテナ線は正しく接続されていますか？	30
(BS・110度CSデジタル放送のとき) - 映像や音声が出ない、または時々出なくなる - 映像が時々静止する - 画面に四角のノイズが出たり、途切れたりする	1. BS・110度CSアンテナの向きがずれている。 2. 雷雨や豪雨などにより、受信電波が弱くなり、一時的に映像や音声が進まったり、全く受信できなくなる場合があります。	1. 設定ボタン⇒  ⇒機器設定⇒チャンネル⇒チャンネルスキャンと設定⇒アンテナ設定⇒衛星/衛星(4K/8K)のレベルでアンテナ入力レベルが最大になる角度にBS・110度CSアンテナを調節してください。 2. 天候が回復すると元に戻ります。
(BS・110度CSデジタル放送のとき) 110度CSデジタル放送が受信できない	- アンテナが110度CSデジタル放送に対応していない。 - アンテナ線やブースター、分配器が110度CSデジタル放送に対応していない。	アンテナ、アンテナ線、ブースター、分配器は、110度CSデジタル放送に対応したものを使用してください。
(BS・110度CSデジタル放送のとき) 特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる	本機とアンテナ線を接続するとき、デジタル放送に対応していないアンテナ線や分配器、分波器などを使用すると、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受ける場合があります。	アンテナを接続する場合は、シールド性の良いBS・110度CSデジタル放送対応のアンテナ線や機器をご使用ください。
(BS・110度CSデジタル放送のとき) 急に画質や音質が少し悪くなった	降雨対応放送になっている。	雨の影響により、受信電波が弱くなっている場合は、電波が弱くなくても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。天候が回復すると元に戻ります。
(BS・110度CSデジタル放送のとき) 有料放送の視聴ができない	有料放送を視聴するための手続きがされていない。	視聴手続きを行ってください。
BS・110度CS4K放送が視聴できない	- BS・110度CS4K放送(左旋)の受信には、左旋に対応したアンテナ、ブースター、分配器、分波器などの受信設備が必要です。受信設備に使用する接続機器は、3.2GHz対応の機器を使用してください。 - BS・110度CS4K放送(右旋)の場合は、上記の「(BS・110度CSデジタル放送のとき)」の各項目をご参照ください。 - 本機は、8K放送には対応していません。	31

このようなときは	ここをお調べください		ページ
(地上デジタル放送のとき) • 映像や音声がでない、または時々出なくなる • 映像が時々静止する • 画面に四角のノイズ(ブロックノイズ)が出たり、音声が途切れたりする	1. UHF アンテナの向きがずれている。 2. UHF アンテナが地上デジタル放送に対応していない。(特定チャンネル対応の場合など) 3. 放送局の送出出力が変化した。	1. 設定ボタン⇒  ⇒機器設定⇒チャンネル⇒チャンネルスキャンと設定⇒アンテナ設定⇒地デジのレベルで、アンテナ入力レベルが最大になる角度にUHF アンテナを調節してください。	操作ガイド
		2. 地上デジタル放送に対応していない場合は、対応するUHF アンテナに交換してください。	-
		3. ブースターをご使用の場合には受信レベルが受信可能なレベルになるよう調整を見直してください。	31
(地上デジタル放送のとき) 地上デジタル放送が受信できない	地上デジタル放送の放送エリアからはずれている。	お客様のお住まいの地域で、地上デジタル放送が開始されているか確認してください。	操作ガイド
地上デジタル放送で、放送局ロゴが表示されない	1. 地上デジタルの各放送を視聴せず、電子番組表などを見ている。 2. UHF アンテナの向きがずれている。	1. 地上デジタル放送の各チャンネルを10分程度視聴してから、電子番組表などを再度確認してください。	操作ガイド
		2. 設定ボタン⇒  ⇒機器設定⇒チャンネル⇒チャンネルスキャンと設定⇒アンテナ設定⇒地デジのレベルで、アンテナ受信レベルが最大になるようにアンテナの向きを調整してください。	-
電子番組表や、データ放送を見ていると、画面が1秒間程度暗くなる場合がある	視聴している番組が標準画質放送(SD放送)からハイビジョン放送(HD放送)に変わった場合、またこの逆の場合、本機のスクリーン情報の書き換えのために1秒間程度画面を暗くして映像の乱れを防止しています。		-
番組表が表示されない	• 全チャンネルの番組表を取得するには、電源オフ(コンセントは接続したまま)の状態で1時間程度放置してください。(番組表はスタンバイ状態のときに本機が自動的に全チャンネルを巡回して取得します。最大で6時間程度かかることがあります。) • 地上デジタル放送のテレビを視聴中は、視聴しているチャンネルのみ番組表が取得されます。また、8日分の番組表を取得するには、10分程度視聴し続ける必要があります。		-
予約が実行されない	視聴予約／録画予約で予約した後に、電源プラグがコンセントから抜けた。	視聴予約／録画予約で予約した場合は、電源プラグがコンセントから抜けていると予約が実行されません。	操作ガイド
字幕や文字スーパーが出ない	1. 設定ボタン⇒  ⇒機器設定⇒ユーザー補助⇒字幕設定⇒字幕／文字スーパーがオフに設定されている。 2. 字幕や文字スーパーのある番組を選局していない。	1. 設定ボタン⇒  ⇒機器設定⇒ユーザー補助⇒字幕設定⇒字幕／文字スーパーを日本語または英語に設定してください。	操作ガイド
		2. 字幕の場合、字幕が表示される番組を視聴してください。	-
ダウンロードを行なったら、受信できなくなった	ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買上げ時の設定値に戻ることがあります。再度設定をやり直してください。		-

このようなときは	ここをお調べください	ページ
- デジタル放送やデータ放送の映像が静止したり、映らない - デジタル放送やデータ放送の選局や操作ができない	スタンバイライトが消灯してから主電源を入れ直してください。	-

HDMI 対応機器を接続中のとき

このようなときは	ここをお調べください	ページ
映像が出ない、乱れる	1. HDMI ケーブルの接続を確認してください。	37
	2. 一部の機器では、正常に動作しないことがあります。	-
	3. 本体および接続機器の電源を入れてください。	
	4. 接続機器の設定を対応信号にしてください。	操作ガイド
4K 映像が受信できない	1. 一部の HDMI ケーブルでは受信出来ない場合があります。	37
	2. 接続機器の設定を対応信号にしてください。	操作ガイド
HDMI 連動機器の操作ができない	推奨品ですか？	-
	本機と HDMI 機器の接続方法は正しいですか？	37

※当社カスタマーセンターへご相談の際は、必要に応じて設定内容を確認させていただきます。

※上の対応を行っても依然としてテレビの状態が改善されず、視聴が不安定な場合は、**初期化**（テレビ本体に内蔵の「操作ガイド」をご覧ください）を行うと、改善される場合があります。但し、初期化すると、全ての設定が初期化されますのでご注意ください。

その他

使用上のご注意

お手入れ

お手入れは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

キャビネットとスクリーン(有機ELパネル)のお手入れ

- お手入れには、ガラス用洗剤、消臭剤、殺虫剤、潤滑剤、ワックス(車用、工業用)、研磨剤、シンナー、ベンゼン、アルコールなどを使用しないでください。製品やスクリーンを損傷するおそれがあります。
- 汚れは柔らかい布で軽く拭きとってください。
- キャビネットの汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- スクリーンに指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- 本機のスクリーンの表面は、クリーニングクロスまたは柔らかい布(綿、ネルなど)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭くと表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 画面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。

結露について

設置時や冷暖房機器などで急激に温度差の影響を受けると、本機内部で結露が発生することがあります。

そのまま使用すると故障の原因となりますので、いったん電源を切り、本機の電源プラグをコンセントから抜いて一定の温度の場所にしばらく置いてからご使用ください。

画像の焼き付きを防ぐためのご注意

有機ELは高画質化と省電力化の実現に欠かせない自発光技術です。他の自発光ディスプレイと同様に、有機ELテレビでも同じ静止画を長時間表示し続けると、残像(焼き付き)が残ることがあります。LG OLEDテレビには、画面への残像を最小限に抑えるための専用機能が用意されています。静止画が画面に継続して表示されている場合、画面の一部または全体で明るさが自動的に低下します。静止画の表示が消えると、画面の明るさは自動的に以前の設定に戻ります。これは製品の故障ではありません。

焼き付きの原因となる画像の例

- 特定の情報を含み、画面に途切れなく表示される静止画や固定イメージ。たとえば、チャンネル番号、放送局のロゴ、番組タイトル、ニュース/映画の字幕、ヘッドラインなど。
- ビデオゲーム機、セットトップボックスの固定メニューやアイコン。
- 画面の周囲に表示される黒の枠線。たとえば4:3比または21:9比の映像など。

焼き付きを防止するには

- 上記のような画像を表示する映像を長時間視聴しない。
- 上記のような映像を長時間視聴する場合には、次のようにテレビの設定を調整する。
設定ボタン ➡ ⑨ ➡ **映像 ➡ モードの選択 ➡ 省エネ**
設定ボタン ➡ ⑨ ➡ **映像 ➡ 詳細設定 ➡ 明るさ ➡ OLEDピクセルの輝度を低く** します。
設定ボタン ➡ ⑨ ➡ **機器設定 ➡ OLED ケア ➡ OLEDパネルケア ➡ ログの明るさを調整する ➡ 高**
- セットトップボックスなどの外部機器のメニューバーが長時間表示されないように、メニューバーの表示をオフにする。(設定方法については、該当する外部機器の取扱説明書をご覧ください。)
- 周囲に枠線が表示される映像を長時間視聴する場合には、次の調整を行い、枠線が表示されないようにする。
設定ボタン ➡ ⑨ ➡ **映像 ➡ 画面サイズ ➡ ユーザー設定 ➡ 垂直方向にズーム** または **4方向ズーム**

焼き付きから画面を保護する機能

- LG OLED テレビは、ピクセルクリーニング機能を搭載しています。この機能は画面の状態をチェックし、画像の焼き付けを最小限に抑える機能です。ピクセルクリーニングは、累積視聴時間に基づいて最適な実行時間を計算し、テレビ画面の電源をオフにした時に自動的に実行されます。
- ピクセルクリーニングの実行中に、画面の上部または下部に横線が表示されることがありますが、これは故障ではありません。
- ピクセルクリーニングは、下記の詳細設定メニューから手動で実行することもできます。
設定ボタン ➡ ⑨ ➡ **機器設定 ➡ OLED ケア ➡ OLEDパネルケア ➡ ピクセルクリーニング**
- ピクセルクリーニングは、テレビ画面の電源コードがコンセントから抜かれている場合や、AC電源が供給されていない場合には実行されません。

天候不良によって、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換わります。(降雨対応放送が行われている場合) 降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

110度CSデジタル放送をご覧になるには

110度CSデジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースターや分配器などをご使用の場合は、2150MHzまたはそれ以上の周波数対応の伝送機器が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

アンテナの点検・交換について

アンテナは雨風にさらされるため、美しい映像でお楽しみいただくためにも定期的に点検・交換することを推奨します。特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

操作できなくなった場合は

本機が操作できなくなった場合は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて、1分間ほど待ってから、再度電源プラグをコンセントに入れ、リモコンで電源を入れて操作できるようになるかご確認ください。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域

(93 MHz～3224 MHz) に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナ線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。また、アンテナの接続時にアンテナ線や分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

赤外線通信機器について

赤外線コードレスマイクや赤外線コードレスヘッドホンなどの通信機器は、通信障害により、使用できない場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

本機に記憶される個人情報などについて

- 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力したお客様の個人情報記録されます。本機を廃棄、譲渡などする場合には**初期化**（テレビ本体に内蔵の「操作ガイド」をご覧ください）を実施して、本機内のメモリーに記録されているデータを消去することを強く推奨します。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失するおそれがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

録画・録音について

- 著作権保護のため、コピーを禁止された番組は録画することができません。
 - 録画・録音した番組は、個人で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。録画・録音したものを権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどに送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されていますので、ご注意ください。
- なお、著作権法違反によって生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いませんので、自己責任のもとでご利用ください。

画面で発生することがある有色の点について

有機ELパネルは非常に精密な技術で作られていますが、ごくまれに(0.01%以下)、画素欠けや常時点灯する画素が発生してしまふことがあります。

画面上の一部に黒い点(常に光らない画素)や輝点(常時点灯する画素)のある場合があっても、これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

USBハードディスクについて

- USBハードディスクは非常に精密な機器です。使用状況によっては部分的に破損して、再生映像にノイズが出たり、最悪の場合は録画や再生が全くできなくなることがあります。
- USBハードディスクには寿命があり、使用状態によっては数年で異常をきたす場合があります。USBハードディスクに録画した映像にノイズが発生しやすくなった場合は、USBハードディスクを交換してください。

- 本機では複数のUSBハードディスクを交換して使用することができますが、ひとつのUSBハードディスクを複数のテレビで使用することはできません。番組を録画したUSBハードディスクを別のテレビに取り付けて使用する場合は、初期化(□入力切替ボタン→ホームハブ入力で接続されたUSBハードディスクを選択して、フォーマット)を行ってください。但し、初期化を行うと、USBハードディスクに保存されている全ての内容が削除されますので、ご注意ください。
- 本機を長時間使用しないときにはUSBハードディスクの機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて本機を使用してください。

その他の留意点について

- 万一、本機の故障や受信障害などにより、視聴および録画、録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。
 - この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。
- チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。
- 地震・雷など自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
 - 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)に関して一切の責任を負いません。

- ・取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・USBハードディスクの動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているプレーカーを落としたりすると、録画された内容がすべて消えたり、ハードディスクが故障したりすることがありますので、注意してください。
- ・USBハードディスクに正しく記録（録画、録音など）できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部または全てが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・テレビ画面は、食器棚や本棚などの背の高い家具の上に置かないでください。
- ・当社が推奨する方法で設置してください。
- ・テレビ画面は、必ず安全に設置できる床と壁に取り付けてください。
- ・テレビ画面のフロントカバーが動いているときは、手などが挟まれてけがをしないように注意してください。
- ・フロントカバーが動いているときは、絶対に触らないでください。また、動いたフロントカバーが、周囲の人や物にぶつからないように注意してください。

デジタル放送について

有料放送視聴の手続きについて

有料放送サービスを受信するためには、個別の受信契約が必要となります。放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社にお問い合わせください。尚、有料放送の視聴契約は、本機のACAS番号の連絡が必要です。

デジタル放送全般については、
(一社) 放送サービス高度化推進協会 (A-PAB) のホームページをご覧ください。
<https://www.apab.or.jp/>

ACAS 番号について

本機は、デジタル放送の有料放送の視聴制限、無料放送の著作権保護の処理などのためのCASモジュールを内蔵しています。CASモジュールに搭載されたACASチップ毎に20桁のACAS番号が付与され、NHKの受信契約メッセージの消去や有料放送の契約などで必要です。

・ACAS番号の確認方法：
テレビ画面の電源をオンにし、リモコンの設定ボタンを押して、**⊗ ➡ 機器設定 ➡ チャンネル ➡ CASモジュール情報**を選択して表示される**CASモジュールID**が、ACAS番号となります。

仕様

形名		OLED97M3PJA
受信機型サイズ		97 V
テレビ画面外形寸法 (cm) (幅×奥行×高さ)		215.5 × 2.8 × 122.5
テレビ画面質量 (kg)		57.5
ゼロコネクトボックス画面外形寸法 (cm) (幅×奥行×高さ)		23.0 × 23.0 × 12.2
ゼロコネクトボックス質量 (kg)		3.0
壁掛けブラケット外形寸法 (cm) (幅×奥行×高さ)		13.5 × 1.6 × 25.4
壁掛けブラケット質量 (kg)		2.8
消費電力		1045 W
待機電力	データ取得時	40.1 W
	データ取得時を除く (注1)	0.5 W
年間消費電力量 (標準時) (注2)		515 kWh/年
年間消費電力の区分名 (目標年度2026年度) (注3)		d (有機EL テレビ)
有機EL 画面	画面寸法 (cm) (幅×高さ (対角))	213.7 × 120.2 (245.2)
	駆動方式	有機EL (OLED)
	画素数	3840 x 2160
電源		AC 100 V~ 50/60 Hz
音声出力		60 W (ツイーター：2 個/ 20 W、 ミッドレンジ：2 個/ 20 W、ウーファー：2 個/ 20W)
受信チャンネル		地上デジタル (CATV/パススルー対応) : VHF 1 - 12、UHF 13 - 62、CATV C13 - C63 BS デジタル : 000 - 999 110度CS デジタル : 000 - 999 BS 4K : 001 - 499 110度CS 4K : 500 - 999
アンテナ入力端子インピーダンス		75 Ω
端子		10ページをご参照ください。
動作条件	温度	動作時 : 0 °C - 40 °C 保管/輸送時 : -20 °C - 60 °C
	湿度	動作時 : 0 % - 80 % (乾式湿度計による相対湿度) 非動作時 : 0 % - 85 % (乾式湿度計による相対湿度)

- 電源、電力定格、製品情報については、製品の底面にあるラベルを参照してください。

Wireless モジュール (LGSBWAX12) 仕様	
Wireless LAN (IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax)	
使用周波数	無線出力
2400 - 2483.5 MHz 5180 MHz、5190 MHz、5200 MHz、5210 MHz、 5220 MHz、5230 MHz、5240 MHz、5260 MHz、 5270 MHz、5280 MHz、5290 MHz、5300 MHz、 5310 MHz、5320 MHz、5500 MHz、5510 MHz、 5520 MHz、5530 MHz、5540 MHz、5550 MHz、 5560 MHz、5580 MHz、5590 MHz、5600 MHz、 5610 MHz、5620 MHz、5630 MHz、5640 MHz、 5660 MHz、5670 MHz、5680 MHz、5700 MHz	802.11a : 15 dBm 以下 802.11b : 17 dBm 以下 802.11g : 16 dBm 以下 802.11n - 2.4 GHz: 16 dBm 以下 802.11n - 5 GHz: 15 dBm 以下 802.11ac - 5 GHz: 15 dBm 以下 802.11ax - 5 GHz: 14.5 dBm 以下
Bluetooth	
使用周波数	無線出力
2400 - 2483.5 MHz	9 dBm 以下

Wireless モジュール (LGSRFT1) 仕様	
使用周波数	無線出力
57.24 - 65.88 GHz	39 dBm

Wireless モジュール (LGSRFR1) 仕様	
使用周波数	無線出力
57.24 - 65.88 GHz	37 dBm

Wireless モジュール (LGSBT12) 仕様	
Bluetooth	
使用周波数	無線出力
2400 - 2483.5 MHz	7.5 dBm 以下

- ワイヤレステレビの実際の周波数と最大出力電力は、各国固有の規格によって異なる場合があります。

(注1) 出荷時に設定されている製品の状態で測定した数値です。

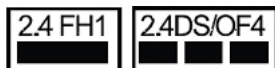
(注2) 年間消費電力量とは：

省エネ法に基づいて、1日あたり5.1時間の平均視聴時間／18.9時間の待機時間（電子番組表取得時間を含む）で算出した、一年間に消費する電力量です。

(注3) 年間消費電力の区分名とは：

省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。

- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信事業会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続する事ができません。
- 本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由して接続してください。
- 電波法により5.2GHz帯(W52)高出力データ通信システムの基地局又は陸上移動局と通信する場合を除き、5.2GHz帯及び5.3GHz帯(W52/W53)の屋外使用は禁止されています。



1. Wi-Fi

この表示のある無線機器は、2.4 GHz 帯を使用しています。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用し、与干渉距離は 40 m です。

2. For Motion remote (Bluetooth)

この表示のある無線機器は、2.4 GHz 帯を使用しています。変調方式として FH-SS 方式を採用し、与干渉距離は 10 m です。

＜本製品の使用上の注意事項＞

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーセンターへお問い合わせください。

Green Mark



本製品は、日本工業規格（JIS C0950：2008）における「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」（通称J-Moss）の規定する特定化学物質の含有率が基準値以下に管理された製品であるため、J-Moss グリーンマークを表示しています。

特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有についての情報は下記Webサイトをご覧ください。

Webサイト：<https://www.lge.com/jp/eco/eco-product#jMoss>

オープンソースソフトウェアのお知らせ

本製品に実装されているGPL、LGPL、MPLおよびその他のオープンソースライセンスに基づく開示義務を有するソースコードの入手は<https://opensource.lge.com/>のWebサイトをご覧ください。

ソースコードと共に、該当するすべてのライセンス内容および著作権表示をダウンロードすることができます。また、弊社は有料でCD-ROMによりオープンソースコードを提供しています。料金にはCD-ROMの代金、送料、取扱手数料が含まれます。ご希望される場合は、opensource@lge.comまで電子メールでお問い合わせください。

本サービスは、弊社が本製品を販売後3年間、本情報を受け取られたすべての方に対して有効です。

登録商標

HDMI™

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

QUICKSET®

(マジックリモコン対応モデルのみ)

HEC Advance™

Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

ACCESS™ NetFront®

FontAvenue

INSPIRIUM

記号

～	交流 (AC) を表します。
===	直流 (DC) を表します。
□	クラスIIの装置を表します。
⏻	スタンバイを表します。
	「オン」(電源) を表します。
⚡	危険な電圧を表します。

さらに、安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくために、本取扱説明書の「安全にお使いいただくために」は、お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

さらに、下記の簡単な安全対策 (特にお子様への安全対策) をお読みいただき、より安全にお使いいただきますよう、お願い致します。

- 決してテレビ画面を不安定な場所に設置しないでください。テレビ画面が落下して、けがや死亡の原因になることがあります。
- キャビネット、スタンドまたは壁掛け金具は弊社が推奨する取り付け方法で常に使用してください。
- テレビ画面を安全にサポートできる家具を常に使用してください。
- テレビ画面が設置する家具の端からはみ出していないことを常に確認してください。
- お子様には、テレビ画面を設置したテレビ台や家具の上に登って操作をさせないでください。
- ゼロコネクトボックスに接続されたコードやケーブルは、火災・感電の原因になることがありますので、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりしないでください。また、ケガの原因になることがありますので、足を引っ掛けたりしないように処理を行ってください。
- 家具とテレビ画面の両方が適切に固定しない、背の高い家具 (たとえば、食器棚や本棚など) の上にテレビ画面を置かないでください。
- 布やその他の材料を敷いたテレビ台や家具の上に、テレビ画面を設置しないでください。
- おもちゃやリモコンなど、子供が登りたくなるようなアイテムをテレビ画面またはテレビ画面が置かれている家具の上に置かないでください。

テレビ画面の設置および移動する場合は、上記の事に注意して行ってください。

設定メニュー

設定	
映像	モードの選択
	パーソナル・ピクチャー・ウィザード
	画面サイズ
	詳細設定
音声	モードの選択
	スピーカー設定
	詳細設定
機器設定	ユーザー補助
	いつでもOK
	AIサービス
	ゲームオプティマイザ
	OLEDケア
	ファミリー設定
	チャンネル
	ネットワーク
	外部デバイス
	システム
	映像省エネ設定
サポート	ソフトウェアアップデート
	操作ガイド
	クイックヘルプ
	モード設定
	テレビ情報
利用規約&法的情報	

保証とアフターサービス

修理の受付・操作・故障に関するお問い合わせ窓口

LG Electronics Japan (株) カスタマーセンター

固定電話（通話料無料）

0120-407-722

携帯電話（通話料お客様負担）

050-3188-3900



お客様からご提供いただいた個人情報はお問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。利用目的の範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。お客様の個人情報は適切に管理し、当社が必要と判断する期間保存させていただきます。

受付時間 月～土曜日 9:00～18:00（年末年始を除く）

※上記の内容は予告なく変更される場合があります。お手数ですが、当社ホームページ(<https://www.lg.com/jp>)をご参照ください。

修理に関するご案内

取扱説明書を再確認していただき、なお異常があるときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機のお買い求め先(保証期間中の場合)、または当社カスタマーセンターへご相談ください。

■ 保証期間中

保証書の規定に従って、出張修理いたします。

■ 保証期間が過ぎている時

修理すれば使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理ご依頼の際にご連絡いただきたい内容

「困ったとき (P.43～47) に沿ってご確認いただいても改善しない場合は電源プラグを抜いて、ご購入日と販売店名、右記の内容をご連絡ください。

●製品名	4K有機ELテレビ
●モデル名	テレビ本体裏の銘板、又はテレビを点けてリモコンの「消音」ボタン3回押しで確認できます
●製造番号	
●故障の状況	できるだけ具体的に

■ 保証書(別添)について

ご購入の際は、ご購入の年月日、お買い上げの販売店名などの所定事項が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。保証期間は保証書に記載されています。

■ 部品について

当社は、テレビの補修用性能部品を製造打ち切り後8年程度保有しています。環境への配慮などから、修理に際して当社が定める品質基準を満たした再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理時に交換・取り外した部品の所有権はすべて当社に帰属するものとします。尚、故障の状況やその他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますので、ご了承ください。

■ ご注意

保証期間中に正常な使用状態で故障した場合は無料修理させていただきますが、保証書の提示がない場合や、一般家庭外(たとえば業務用)で使用したことによる故障修理は有料修理となります。また、日本国内仕様の当社製テレビのうち、日本国内で使用し故障した製品のみが修理対象となります。詳しくは保証書記載の[無料修理規定]をご確認ください。修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してけがをすることがあります。(故障時は有償になります。)



愛情点検

このような症状はありませんか？

ー ー ー 長年ご使用のテレビの点検を！ー

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。映像が時々、消えることがある。
- 変なおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて当社カスタマーセンターにご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。



LG Electronics Japan 株式会社

〒104-8301 東京都中央区京橋2-1-3
京橋トラストタワー15階

LG SIGNATURE

テレビの型名と製造番号は、背面または側面に記載されています。サービスご依頼時に必要となりますので、下記に記入することを推奨します。

型名

製造番号